

令和5年度

岩手大学農学部年報

Vol. 29

IWATE UNIVERSITY

2023

岩手大学農学部

農学部年報第 29 号の刊行によせて

岩手大学農学部長 伊藤菊一

時代が変わっても大学に求められるものは「優れた研究に基づく教育」ではないでしょうか。研究にも基礎研究，応用研究，実用化研究，実証研究，実装研究など様々な形態があり，民間や国研などで行われている研究もありますが，研究と教育が有機的に結びついている組織体は大学以外にはなく，大学は「知の創出と継承」を通じて社会の発展を牽引するエンジンであり，この大きな役割はこれからも変わることはないでしょう。

岩手大学農学部は，地域の課題に取り組むとともに，世界に通用する研究成果を挙げることを使命としており，そこに学ぶ学生も教員と共に研究を行い，社会で活躍するための力を育んでいます。

本年報が「地域の知の府」として地域と社会に貢献する現在の農学部の活動の記録として，多方面で活用されることを願っております。

令和 6 年 12 月

目 次

農学部年報第29号の刊行によせて

I 令和5年度の活動概要

1 トピックス	3
2 年間主要行事	5
3 広報等活動状況	7

II 教員・スタッフ

1 学部教員	
(1) 植物生命科学科	11
(2) 応用生物化学科	12
(3) 森林科学科	13
(4) 食料生産環境学科	14
(5) 動物科学科	15
(6) 共同獣医学科	16
2 附属施設教員	
(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	18
(2) 附属動物病院	18
(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター	18
3 技術部	19
4 学会等の開催	25
5 研究助成	27
6 非常勤講師	30
7 委員会一覧	36

III 学 生

1 入試	
(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等	41
(2) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点	41
(3) 入学選抜状況	42
(4) 学校推薦型選抜入学選抜状況	43
(5) 植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況	43
(6) 大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況	43
(7) 大学院獣医学研究科（博士課程）選抜状況	45
2 カリキュラム	
(1) 植物生命科学科	46
(2) 応用生物化学科	47
(3) 森林科学科	48
(4) 食料生産環境学科	49
(5) 動物科学科	52
(6) 共同獣医学科	53

3	学部学生	
(1)	入学年度別在籍者数	54
(2)	研究生・科目等履修生・特別聴講生受入状況	54
(3)	卒業者数	55
(4)	卒業者の進路状況	55
4	大学院修士課程	
(1)	在籍者数	56
(2)	修了者数	56
(3)	修了者の進路状況	57
(4)	修士論文一覧	58
5	大学院博士課程	
(1)	岩手大学大学院獣医学研究科	61
(2)	岩手大学大学院連合農学研究科	61
(3)	岐阜大学大学院連合獣医学研究科	64
IV	国際交流	
1	海外渡航	67
2	外国人研究者の受入	69
3	留学生の受入	69
4	交換留学生の派遣と受入	70
V	地域交流	
1	セミナー・公開講座等の開催	73
(1)	職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの	73
(2)	一般市民・児童生徒を対象とするもの	75
(3)	公開講座等	76
2	その他の地域連携事業	79
(1)	いわてアグリフロンティアスクール	79
(2)	A F R（岩手農林研究協議会）	81
3	受託研究員の受入	82
VI	附属施設	
1	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	85
1-1	地域フィールド総合科学分野	
(1)	概要，教育研究の内容	
(2)	地域貢献	
1-2	持続型農業生産技術分野（滝沢農場，御明神牧場）	
(1)	概要	
(2)	教育研究の内容	
(3)	実習等	
(4)	土地利用計画	
(5)	家畜	
(6)	農畜産物売払高	
1-3	循環型森林管理技術分野（御明神演習林，滝沢演習林）	
(1)	概要	
(2)	教育研究の内容	
(3)	御明神演習林	
(4)	滝沢演習林	
(5)	林産物の販売	

2	附属動物病院	91
	(1) 概要	
	(2) 診療状況	
	(3) 臨床教育の内容	
3	附属植物園	95
	(1) 概要	
	(2) 主な構成	
	(3) 園内概況	
	(4) 植物園・ガラス温室利用状況	
4	附属農業教育資料館	99
	(1) 概 要	
	(2) 展示資料	
	(3) 入館者数	
	(4) 農業教育資料館蔵資料の他施設・団体への貸出実績	
5	附属動物医学食品安全教育研究センター	102
	(1) 概 要	
	(2) 活動内容	
6	附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター	105
	(1) 概 要	
	(2) 活動内容	
VII 事務組織等		
1	事務組織	109
2	令和5年度予算関係	109
3	職員の動向	110
	(1) 教育職員	
	(2) 事務職員	
	(3) 技術職員	

I 令和5年度の活動概要

1. トピックス

【新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行】

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じての年度スタートとなったが、令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行となり、感染拡大防止策も大幅に緩和された。これに伴い、中止や規模縮小が続いていた多くの行事等が本格開催された。8月のオープンキャンパスは、事前予約・入替制なしで実施され、1,582名の参加があった。

【国際交流】

(1) アメリカオーバン大学との学術交流

平成10年に締結された「学術交流に関する協定書」に基づき、学術交流の一環として平成16年から学生交流が行われている。令和5年度は、学生の派遣が再開され、8月21日から9月8日の間、共同獣医学科の学生1名を派遣した。

(2) カナダサスカチュワン大学との学術交流

平成25年3月1日に締結された岩手大学とカナダサスカチュワン大学との大学間学術交流協定に基づき、岩手大学農学部とカナダサスカチュワン大学言語センターとの学生派遣に関する合意を平成26年2月20日に締結し、学生の派遣を開始した。令和5年度は、学生派遣の再開に向けて、オンラインで打ち合わせを行った。また、岩手大学イーハトーブサマープログラム（農学コース）を実施し、サスカチュワン大学から引率教員含め14名を受け入れた。

(3) ドイツロッテンブルグ大学との学術交流

平成25年11月6日から10年間で締結された岩手大学農学部とドイツロッテンブルグ大学との学術交流協定に基づき、学生の派遣を行っている。令和5年度は、協定の再締結をおこなった。また、学生の短期留学が再開され、9月18日から22日の間、総合科学研究科地域創生専攻の大学院学生6名を派遣した。

(4) 上海海洋大学との学術交流

令和5年度は、5月に岩手大学主催の国際シンポジウムを開催し、上海海洋大学から教員3名が参加した。8月及び3月には理工学部教員1名が、12月には農学部教員1名が上海海洋大学を訪問し、講演会を行った。また、NPO法人国際食育交流協会主催、岩手大学と上海海洋大学共催のオンライン食育講座を3回行い、共同研究の情報交換等のためにオンラインセミナーを5回行った。

【研究助成】

(1) 共同研究

令和5年度における民間等との共同研究は32件行われ、岩手県内の企業等から5件であった。

(2) 受託研究

令和5年度には13件行われ、独立行政法人の研究機関から8件であった。

【学部長及び附属施設長の交代等】

(1) 学部長の再任

伊藤菊一教授が任期満了に伴い、令和5年4月1日付けで再任された。

(2) 副学部長の再任

澤井健教授が任期満了に伴い、令和5年4月1日付けで再任された。

(3) 附属動物病院長の就任

前任者の任期満了に伴い、片山泰章教授が令和5年4月1日付けで就任した。

(4) 附属動物医学食品安全教育研究センター長の就任

前任者の任期満了に伴い、佐藤至教授が令和5年4月1日付けで就任した。

(5) 附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター長の就任

前任者の任期満了に伴い、落合謙爾教授が令和5年4月1日付けで就任した。また、落合教授の辞任に伴い、

一條俊浩教授が令和5年7月1日付けで就任した。

(6) 附属植物園長の再任

真坂一彦教授が任期満了に伴い、令和5年4月1日付けで再任された。

(7) 附属農業教育資料館長の就任

前任者の任期満了に伴い、佐藤至教授が令和5年4月1日付けで就任した。

【その他】

(1) コインパーキングの設置

附属動物病院東側駐車場を民間事業者へ貸し付け、令和5年12月1日（金）からコインパーキングとしての営業を開始した。

(2) 附属農業教育資料館特別公開及び土日祝日の公開

令和5年11月3日（金、祝日）の文化の日を記念して、農業教育資料館の特別公開（無料開館）が行われ、期間中多くの入館者が訪れた。また、令和5年4月29日（土）から11月3日（金）（全学一斉休業期間を除く。）まで、土日祝日も一般公開を行った。

(3) 教育・進路懇談会の開催と授業公開

1年次、2年次及び就職を控えた3年次（共同獣医学会は5年次）学生の保護者を対象に、令和5年11月5日（日）に教育・進路懇談会を開催し、11月6日（月）から10日（金）まで授業公開を行った。令和元年度以来、4年ぶりの開催となったが、再開にあたり、教育懇談会と進路懇談会に分けて開催していたものを一本化した。懇談会当日は、全体懇談会のほか各学科の教員による個別面談も行われ、78名の保護者が訪れた。

2. 年間主要行事

年 月 日	曜日	事 項
令和5年		
4. 7	金	入学式
4. 10	月	新入生オリエンテーション
5. 13	土	公開講座「パピークラス@岩手大学」（6月10日までの毎週土曜日）
5. 23	火	いわてアグリフロンティアスクール開講式
6. 1	木	開学記念日
6. 17	土	公開講座「パピークラス@岩手大学」（7月15日までの毎週土曜日）
6. 23	金	令和6年度岩手大学農学部（森林科学科，共同獣医学科を除く4学科）編入学試験
7. 1	土	公開講座「農学部5学科（植物生命科学科，応用生物化学科，森林科学科，食料生産環境学科，動物科学科）の実験講座」
7. 3	月	令和6年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻推薦入学試験
7. 26	水	公開講座「大学農場で体験する食と農と生物学」（滝沢農場）
8. 5	土	夏季休業（9月30日まで）
8. 8	火	オープンキャンパス
8. 21	月	令和5年10月入学・令和6年4月入学第1期岩手大学大学院総合科学研究科入学試験（22日まで）
8. 23	水	令和5年10月入学・令和6年4月入学第1期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
9. 5	火	令和5年10月入学・令和6年4月入学第1期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
9. 15	金	令和5年9月岐阜大学大学院連合獣医学研究科学学位記授与式
9. 25	月	令和5年9月岩手大学卒業・修了式，連合農学研究科学学位記伝達式
10. 2	月	令和5年10月入学式
10. 7	土	附属農業教育資料館特別企画「蓄音機で聴く宮澤賢治と音楽」
10. 18	水	動物慰霊祭
10. 21	土	公開講座「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」（滝沢演習林）
11. 5	日	令和5年度岩手大学農学部教育・進路懇談会
11. 6	月	第21回岩手大学農学部授業公開（10日まで）
11. 21	火	令和6年度岩手大学学校推薦型選抜（共同獣医学科を除く5学科）
12. 11	月	山神祭（御明神演習林）
12. 25	月	冬季休業（1月3日まで）
12. 27	水	令和6年度岩手大学農学部総合型選抜（動物科学科を除く5学科）
令和6年		
1. 13	土	大学入学共通テスト（14日まで）
1. 23	火	令和6年4月入学岩手大学大学院総合科学研究科第2期入学試験（24日まで）
1. 25	木	令和6年4月入学第2期岩手大学大学院獣医学研究科共同獣医学専攻入学試験
2. 1	木	令和6年4月入学第2期岩手大学大学院連合農学研究科入学試験
2. 8	木	いわてアグリフロンティアスクール修了式
2. 19	月	附属動物医学食品安全教育研究センター成果発表会
2. 25	日	令和6年度岩手大学一般選抜（前期日程）

年 月 日	曜日	事 項
3. 12	火	令和6年度岩手大学一般選抜（後期日程）
3. 13	水	令和5年度岐阜大学大学院連合獣医学研究科学学位記授与式
3. 19	火	公開講座「動物のお医者さん、産業動物の獣医さんは何をするの？」
3. 22	金	令和5年度岩手大学学位記授与式，連合農学研究科学学位記伝達式
3. 25	月	春季休業（31日まで）
3. 27	水	附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センターシンポジウム

3. 広報等活動状況

日 程	種 別	高 校 名	対 応 者
5月31日	大学見学	古川学園高等学校	白旗 学
6月27日	大学見学	盛岡中央高等学校	松嶋 卯月
6月30日	大学見学	岩手県立一関第二高等学校	関 まどか
7月24日	大学見学	岩手県立花泉高等学校	斎藤 靖史
7月27日	大学見学	岩手県立宮古高等学校	出口 善隆・山崎 朗子
7月28日	大学見学	岩手県立千厩高等学校	河村 幸男
8月24日	大学見学	岩手県立北上翔南高等学校	東 淳樹
8月28日	大学見学	青森県立木造高等学校	森田 智也
9月20日	大学見学	岩手県立遠野高等学校	濱上 邦彦
9月22日	大学見学	秋田県立湯沢高等学校	松嶋 卯月
9月28日	大学見学	岩手県立盛岡第二高等学校	関 まどか・東 淳樹
10月12日	大学見学	青森県立八戸工業大学第一高等学校	袁 春紅
10月13日	大学見学	秋田県立横手城南高等学校	濱上 邦彦
10月18日	大学見学	秋田県立角館高等学校	河村 幸男
10月23日	大学見学	岩手県立伊保内高等学校	横山 拓矢
10月26日	大学見学	岩手県立久慈高等学校	山崎 朗子・東 淳樹
5月30日	出前講義	岩手県立花巻北高等学校	小出 章二
6月21日	出前講義	青森県立三沢高等学校	築城 幹典
6月29日	出前講義	青森県立弘前南高等学校	出口 善隆
9月7日	出前講義	青森県立弘前南高等学校	八重樫 元
9月14日	出前講義	青森県立五所川原高等学校	前田 武己
9月14日	出前講義	青森県立青森東高等学校	佐原 健
10月12日	出前講義	愛知県立安城東高等学校	牧野 良輔
10月12日	出前講義	盛岡中央高等学校	下野 裕之
10月12日	出前講義	岩手県立福岡高等学校	松波 麻耶
10月13日	出前講義	秋田県立秋田北高等学校	河村 幸男
10月20日	出前講義	栃木県立矢板東高等学校	高橋 透
10月20日	出前講義	北海道函館中部高等学校	鈴木 雄二
10月20日	出前講義	宮城県泉館山高等学校	伊藤 芳明
10月25日	出前講義	福島県立橘高等学校	下野 裕之
10月26日	出前講義	青森県立青森高等学校	斎藤 靖史
10月27日	出前講義	市立札幌藻岩高等学校	小出 章二
11月8日	出前講義	栃木県立矢板東高等学校	由比 進
1月31日	出前講義	秋田県立大館鳳鳴高等学校	西山 賢一

Ⅱ 教員・スタッフ

1. 学部教員

(1) 植物生命科学科

■教 授

磯 貝 雅 道	(Isogai, Masamichi)	1999 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
小 森 貞 男	(Komori, Sadao)	2001 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐 原 健	(Sahara, Ken)	2012 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
下 野 裕 之	(Shimono, Hiroyuki)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立 澤 文 見	(Tatsuzawa, Fumi)	2009 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
畠 山 勝 徳	(Hatakeyama, Katsunori)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
ラーマン アビドゥール (RAHMAN Abidur)		2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

川原田 泰 之	(Kawaharada, Yasuyuki)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
河 村 幸 男	(Kawamura, Yukio)	2009 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松 波 麻 耶	(Matsunami, Maya)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
八重樫 元	(Yaegashi, Hajime)	2021 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■講 師

安 嬰	(An, Ying)	2001 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
-----	------------	----------	---

(2) 応用生物化学科

■教 授

伊 藤 菊 一	(Ito, Kikukatsu)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
伊 藤 芳 明	(Ito, Yoshiaki)	1999 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木 村 賢 一	(Kimura, Ken-ichi)	2001 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
鈴 木 雄 二	(Suzuki, Yuji)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
西 山 賢 一	(Nishijyama, Ken-ichi)	2010 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
三 浦 靖	(Miura, Makoto)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
宮 崎 雅 雄	(Miyazaki, Masao)	2012 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 下 哲 郎	(Yamashita, Tetsuro)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 田 美 和	(Yamada, Miwa)	2011 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

ウィリヤサムクン パッタマ (WIRIYASERMKUL PATTAMA)		2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
斎 藤 靖 史	(Saitoh, Yasushi)	1999 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
立 石 貴 浩	(Tateishi, Takahiro)	2002 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(3) 森林科学科

■教 授

國 崎 貴 嗣	(Kunisaki, Takashi)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
小藤田 久 義	(Kofujita, Hisayoshi)	1994 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
関 野 登	(Sekino, Noboru)	1984 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
真 坂 一 彦	(Masaka, Kazuhiko)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

伊 藤 幸 男	(Ito, Sachio)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧
齋 藤 仁 志	(Saito, Masashi)	2019 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
當 山 啓 介	(Toyama, Keisuke)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松 本 一 穂	(Matsumoto, Kazuho)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 内 貴 義	(Yamauchi, Kiyoshi)	2017 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■講 師

東 淳 樹	(Azuma, Atsuki)	2000 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
松 木 佐和子	(Matsuki, Sawako)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■助 教

山 崎 遥	(Yamazaki, Haruka)	2020 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
-------	--------------------	----------	---

(4) 食料生産環境学科

① 農村地域デザイン学コース

■教 授

飯 田 俊 彰	(Iida, Toshiaki)	2020 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	------------------	----------	---

■准教授

杉 田 早 苗	(Sugita, Sanae)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	-----------------	----------	---

濱 上 邦 彦	(Hamagami, Kunihiko)	2011 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	----------------------	----------	---

武 藤 由 子	(Muto, Yoshiko)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	-----------------	----------	---

山 本 清 仁	(Yamamoto, Kiyohito)	2009 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	----------------------	----------	---

② 食産業システム学コース

■教 授

小 出 章 二	(Koide, Shoji)	1996 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	----------------	----------	---

■准教授

折 笠 貴 寛	(Orikasa, Takahiro)	2012 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	---------------------	----------	---

木 下 幸 雄	(Kinoshita, Yukio)	2005 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	--------------------	----------	---

前 田 武 己	(Maeda, Takeki)	2001 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	-----------------	----------	---

松 嶋 卯 月	(Matsushima, Uzuki)	2005 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	---------------------	----------	---

③ 水産システム学コース

■教 授

袁 春 紅	(YUAN, Chunhong)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
-------	------------------	----------	---

平 井 俊 朗	(Hirai, Toshiaki)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	-------------------	----------	---

■准教授

石 村 学 志	(Ishimura, Gakushi)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	---------------------	----------	---

■助 教

塚 越 英 晴	(Tsukagoshi, Hideharu)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	------------------------	----------	---

(5) 動物科学科

■教 授

澤 井 健	(Sawai, Ken)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
築 城 幹 典	(Tsuiki, Mikinori)	1997 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
出 口 善 隆	(Deguchi, Yoshitaka)	2002 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
西 向 めぐみ	(Nishimukai, Megumi)	2013 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

藤 井 貴 志	(Fujii, Takashi)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
牧 野 良 輔	(Makino, Ryosuke)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
村 元 隆 行	(Muramoto, Takayuki)	2006 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

(6) 共同獣医学科

■教 授

一 條 俊 浩	(Ichijo, Toshihiro)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧
落 合 謙 爾	(Ochiai, Kenji)	2014 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
木 崎 景一郎	(Kizaki, Keiichiro)	2004 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐 藤 洋	(Satoh, Hiroshi)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐 藤 雪 太	(Satoh, Yukita)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
高 橋 透	(Takahashi, Toru)	2013 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
古 市 達 哉	(Furuichi, Tatsuya)	2012 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
村 上 賢 二	(Murakami, Kenji)	2012 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 崎 真 大	(Yamasaki, Masahiro)	2014 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 本 欣 郎	(Yamamoto, Yoshio)	2002 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■准教授

大 沼 俊 名	(Ishiguro-Oonuma, Toshina)	2016 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
関 まどか	(Ichikawa-Seki, Madoka)	2013 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
高 橋 正 弘	(Takahashi, Masahiro)	2014 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
中牟田 信 明	(Nakamuta, Nobuaki)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
宮 崎 珠 子	(Miyazaki, Tamako)	2021 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
森 田 智 也	(Morita, Tomoya)	2020 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 崎 朗 子	(Yamazaki, Akiko)	2015 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 田 慎 二	(Yamada, Shinji)	2019 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
山 田 美 鈴	(Yamada, Misuzu)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧
横 山 拓 矢	(Yokoyama, Takuya)	2023 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

■助 教

金 澤 朋 美	(Kanazawa, Tomomi)	2021 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
---------	--------------------	----------	---

小 林 沙 織	(Kobayashi, Saori)	2009 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
佐々木 淳	(Sasaki, Jun)	2007 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap
中 田 浩 平	(Nakata, Kohei)	2021 年赴任	岩手大学研究者総覧
前 原 都有子	(Maehara, Toko)	2022 年赴任	岩手大学研究者総覧 ・ researchmap

2. 附属施設教員

(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

■教 授

山 本 信 次 (Yamamoto, Shinji) 1997 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

由 比 進 (Yui, Susumu) 2016 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■准教授

平 田 統 一 (Hirata, Toh-ichi) 1992 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■助 教

白 旗 学 (Shirahata, Manabu) 1991 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

高 田 乃倫予 (Takada, Noriyo) 2022 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

渡 邊 学 (Watanabe, Manabu) 2003 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

(2) 附属動物病院

■教 授

片 山 泰 章 (Katayama, Masaaki) 2005 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#)

■准教授

星 野 有 希 (Hoshino, Yuki) 2017 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

■助 教

南 雲 隆 弘 (Nagumo, Takahiro) 2023 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

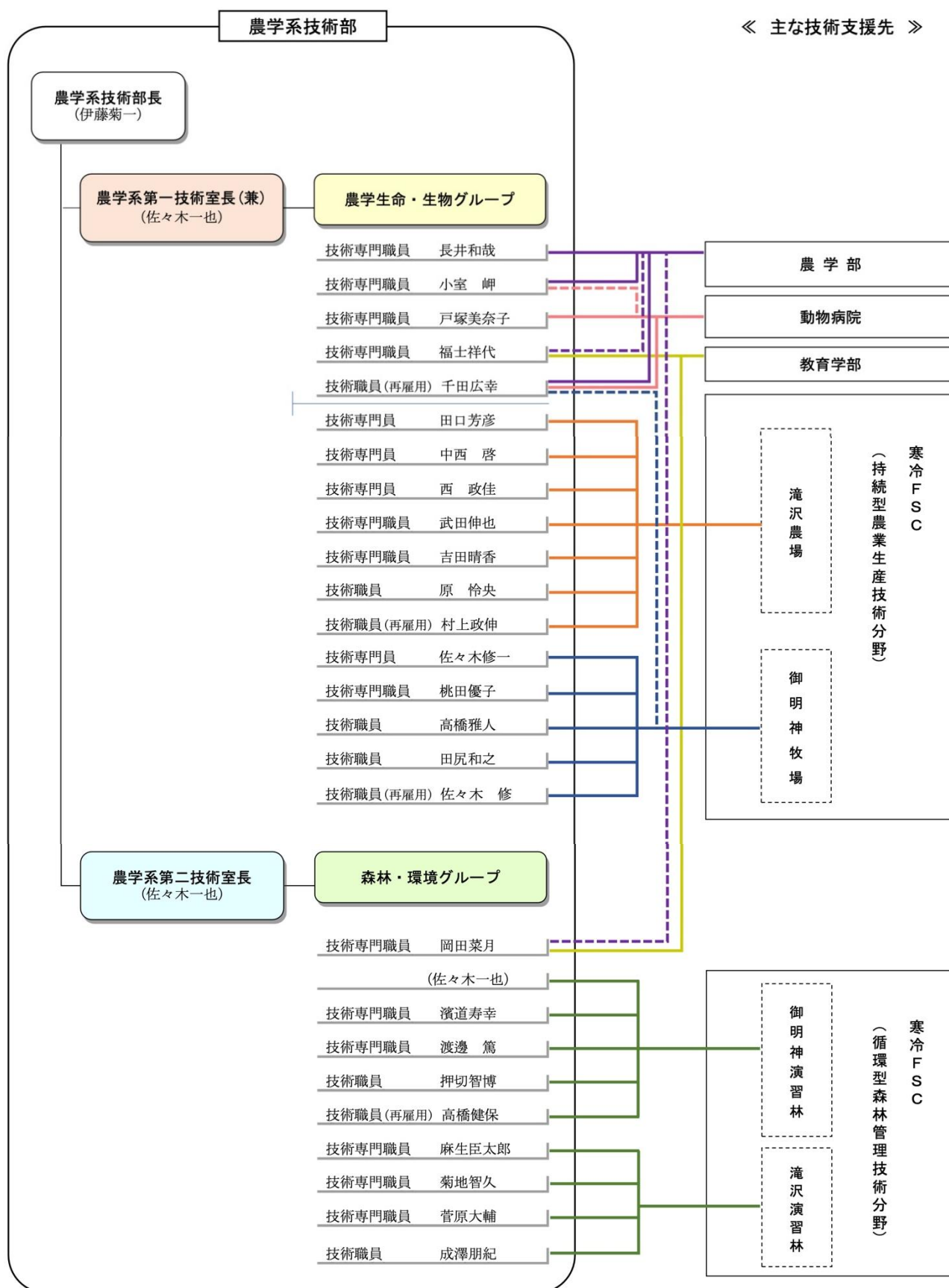
(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター

■教 授

佐 藤 至 (Sato, Itaru) 1990 年赴任 [岩手大学研究者総覧](#) ・ [researchmap](#)

3 技 術 部

農学系技術部と主な技術支援先(R5年度)



※ 記載は、グループ別主な技術支援先別職位別五十音順。○はグループリーダー。

氏 名	赴任・職位	専門分野	学位／資格・免許等
【農学系第一技術室】			
長 井 和 哉 Nagai, Kazuya	2006 年 技術専門職員	分子生物学 分子生態学	博士（農学）（岩手大学） 第一種衛生管理者
小 室 岬 Komuro, Misaki	2010 年 技術専門職員	花卉園芸学	修士（農学）（山形大学）／ 第一種衛生管理者，毒物劇物取扱者 （一般）
戸 塚 美奈子 Tozuka, Min	2007 年 技術専門職員	臨床検査学	臨床検査技師，普通第一種压力容器 取扱作業主任者技能講習修了
福 士 祥 代 Fukushi, Sachiyo	2013 年 技術専門職員	蔬菜・花卉 機器分析	修士（農学）（岩手大学）／ 第一種衛生管理者，毒劇物取扱者 （一般），フォークリフト
千 田 広 幸 Chida, Hiroyuki	1979 年 技術職員	飼料作物栽培学	大型自動車，けん引（農耕車）， ガス溶接，車輛系建設機械（整地 等），ボイラー技士（二級）
田 口 芳 彦 Taguchi, Yoshihiko	1992 年 技術専門員	作物栽培学	大型自動車，大型特殊自動車，フ ォークリフト，けん引，ボイラー 技士（二級），危険物乙種四類
武 田 伸 也 Takeda, Sinya	1993 年 技術専門職員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），日本農業技 術検定 2 級，フォークリフト
中 西 啓 Nakanisi, Akira	1992 年 技術専門員	花卉園芸学， 蔬菜園芸学	毒物劇物取扱者（農業用品目）， 大型特殊自動車，第二種衛生管理 者，日本農業技術検定 2 級，フ ォークリフト
西 政 佳 Nishi, Masayoshi	1992 年 技術専門員	作物栽培学	大型特殊（農耕車），けん引（農耕 車），フォークリフト，乾燥設備作 業主任者技能講習，刈払機取扱作業 者安全衛生教育終了
村 上 政 伸 Murakami, masanobu	1997 年 技術専門職員	果樹園芸学	大型自動車，大型特殊自動車，フ ォークリフト
吉 田 晴 香 Yoshida, Haruka	2008 年 技術専門職員	果樹園芸学	修士（農学）（岩手大学）／ 第一種衛生管理者，日本農業技術検 定 2 級，フォークリフト
佐々木 修 一 Sasaki, Shu-ichi	1991 年赴任 技術専門員	飼養，繁殖	大型特殊自動車免許（農耕車），け ん引免許（農耕車），毒物劇物取扱

			者（農業用品目），家畜人工授精師（牛），家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植講習修了
桃 田 優 子 Momota, Yuko	2007 年 技術専門職員	飼養，繁殖	修士（農学）（千葉大学）／ 家畜人工授精師（牛），大型特殊自動車
高 橋 雅 人 Takahashi, Masahito	2020 年 技術職員	飼料作，機械	中型自動車免許，大型特殊自動車免許，ガス溶接技能講習，玉掛け技能講習
田 尻 和 之 Tajiri, Kazuyuki	2017 年 技術職員	飼養・繁殖	中型自動車免許一種，大型特殊自動車免許一種，家畜人工授精師（牛），二級削蹄師，車輛系建設機械（整地・運搬・積込み用及び採掘用）
佐々木 修 Sasaki, Osamu	1994 年 技術職員	飼料作，機械	大型、大型特殊、けん引自動車一種免許，（牛）家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植，二級ボイラー技士免許，車両系建設機械運転技能講習，ガス溶接技能講習
【農学系第二技術室】			
岡 田 菜 月 Okada, Natsuki	2012 年 技術専門職員	木工，森林生態学， 森林環境教育学	修士（農学）（岩手大学）／ 第一種衛生管理者，2 級ビオトープ計画管理士，森林インストラクター，木材加工用機械作業主任者技能講習
佐々木 一 也 Sasaki, Kazuya	2004 年 技術室長	林政学，森林管理学	博士（農学）（岩手大学）／ 測量士補，森林情報士（森林GIS 2 級），第一種衛生管理者
濱 道 寿 幸 Hamamichi, Toshiyuki	1999 年 技術専門職員	森林生態学，林業 機械	第一種衛生管理者，第 3 種陸上特殊無線技士，地山掘削作業主任者，ツリークライミングファシリテーター，狩猟免許（銃、罟）
渡 邊 篤 Watanabe, Atsushi	2009 年 技術専職員	林業生産工学	第一種衛生管理者，修習技術者，測量士，森林インストラクター，中型自動車免許
押 切 智 博 Oshikiri, Tomohiro	2021年 技術職員	野生動物管理学	修士（農学）（岩手大学）／ 修習技術者，測量士補，第一種衛生管理者，学芸員

高 橋 健 保 Takahashi, Takeyasu	2004 年 術職員	森林管理学、森林 生産利用学	大型特殊自動車免許，車両系建設機 械（自重 3 t 以上），はい作業主任者， 不整地運搬車運転技能講習，玉掛け 技能講習
麻 生 臣太郎 Aso, Shintaro	2008 年 技術専門職員	林業生産工学	修士（農学）（岩手大学）／ 大型特殊自動車免許，第一種衛生 管理者，危険物取扱者（乙種）， 測量士，修習技術者
菊 地 智 久 Kikuchi, Tohisa	1997 年 技術専門職員	森林管理学，樹木 学，樹木医学，森林 環境教育学	樹木医，森林インストラクター，第 1 種衛生管理者
菅 原 大 輔 Sugawara, Daisuke	2012 年 技術専門職員	森林管理学	修習技術者，測量士補，車両系建設 機械（自重 3 t 以上），はい作業主任 者，危険物取扱者（乙種）
成 澤 朋 紀 Narisawa, Tomoki	2021 年 技術職員	森林リモートセン シング，森林 GIS	修士（農学）（東北大学）／ 森林インストラクター，危険物取 扱者（乙種，第 4 類），第一種衛 生管理者，ネイチャーゲームリー ダー，学芸員
原 怜 央 Hara, Reo	2023 年技術職 員	蔬菜園芸学	刈払機、フォークリフト

4. 学会等の開催

◇応用生物化学科

第14回日本応用糖質科学会東北支部会講演会

- ・開催日：令和5年7月8日（土）
- ・場所：岩手大学（農学部7番講義室）
- ・参加人数：38名
- ・その他：世話人 三浦 靖（岩手大学教授）

日本栄養・食糧学会東北支部第57回大会、日本食品科学工学会東北支部令和5年度大会合同支部大会
および公開シンポジウム

- ・開催日：令和5年11月11日（土）～12日（日）
- ・場所：岩手大学（農学部総合教育研究棟（生命系）、7番教室）
- ・参加人数：62名
- ・その他：世話人 伊藤芳明、西向めぐみ、小出章二（岩手大学教授）、折笠貴寛（岩手大学准教授）他

第4回 細胞形成研究会

- ・開催日：令和6年2月9日（金）
- ・場所：岩手大学（農学部1番会議室）
- ・参加人数：30名
- ・その他：世話人 西山賢一（岩手大学教授）

◇食料生産環境学科

10th International Symposium of EAFTA (East Asia Fisheries Technologists Association) 国際シンポジウム

- ・年月日：令和5年5月17日(水)から5月20日(土)
- ・場所：北桐ホールとオンライン開催
- ・参加人数：約120名
- ・その他：企画運営者：西向めぐみ、袁春紅（岩手大学教授）

◇動物科学科

10th International Symposium of EAFTA (East Asia Fisheries Technologists Association) 国際シンポジウム ※再掲

- ・年月日：令和5年5月17日(水)から5月20日(土)
- ・場所：北桐ホールとオンライン開催
- ・参加人数：約120名
- ・その他：企画運営者：西向めぐみ、袁春紅（岩手大学教授）

第72回東北畜産学会岩手大会

- ・年月日：令和5年8月29日（火）～30日（水）
- ・場所：岩手大学農学部
- ・参加人数：92名
- ・大会実行委員長：喜多一美（岩手大学教授）

第26回 Hindgut Club Japan シンポジウム

- ・年月日：令和5年12月2日（土）

- ・場 所：東洋大学 赤羽台キャンパス
- ・参加人数：57 名
- ・シンポジウムコンビーナー：西向めぐみ（岩手大学農学部）

JSPS Japan-Poland Joint seminar

“Cutting-edge Reproductive Physiology：Bridges to the Future of Research and Cooperation”

- ・年 月 日：令和5年9月4日（月）～6日（水）
- ・場 所：岩手大学銀河ホール
- ・参加人数：28 名
- ・主催者：澤井 健（岩手大学農学部）

日本栄養・食糧学会東北支部第57回大会

日本食品科学工学会東北支部令和5年度大会

- ・年 月 日：令和5年11月11日（土）～12日（日）
- ・場 所：岩手大学農学部
- ・参加人数：62 名
- ・世話人：太田徹（盛岡大学 栄養科学部）
伊藤芳明、西向めぐみ、小出章二、折笠貴寛（岩手大学農学部）

5. 研究助成

令和5年度科学研究費補助金採択状況一覧

(単位:円, 所属・職位は令和5年4月1日もしくは採用時現在)

研究種目	学科等	研究代表者氏名	職位	研究科題名	配分額
学術変革領域研究 (A)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	社会実装を目指した汎用的セル・フリー膜タンパク質合成システムの開発	3,700,000
学術変革領域研究 (A)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	構造類似糖脂質 MPase、BPF、ECA の生合成酵素の探索・比較による糖付加戦略の解明	4,100,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	伊藤 菊一	教授	発熱植物ゼンノウの体温調節に関わる温度センシングモジュールの探索と同定	2,600,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	鈴木 雄二	教授	炭酸固定からトリオスリン酸生成の増強による光合成と個体生育の窒素利用効率の改良	2,400,000
基盤研究(B)	共同獣医学科	落合 謙爾	教授	神経病原性レトロウイルスがグリオーマを誘発する新しい分子機構の解明	2,500,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	山田 美和	准教授	産業廃棄物を原料としたグリコール酸高効率コポリマー創製のための代謝工学戦略	3,500,000
基盤研究(B)	食料生産環境学科	木下 幸雄	准教授	土地改良区の経営で実践可能な戦略的マネジメント手法の提案	2,300,000
基盤研究(B)	動物科学科	喜多 一美	教授	高血糖動物であるニワトリにおける血漿中アミノ酸アマドリ化合物濃度の制御機構	3,500,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	膜タンパク質のバイオジェネシスに関わる糖脂質 MPase の構造と機能に関する研究	3,700,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	松波 麻耶	助教	局所養分に対するイネ根系の誘導的伸長メカニズムの解明	8,600,000
基盤研究(B)	食料生産環境学科	松嶋 卯月	准教授	海水塩濃度の塩水を用いた湛水栽培におけるコマツナの塩馴れ機構	6,400,000
基盤研究(B)	植物生命科学科	河村 幸男	准教授	植物の越冬中に凍結耐性を大幅に上昇させる凍結による馴化とその分子メカニズムの解明	6,300,000
基盤研究(B)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	ゲノム解析から迫るネコのマタタビ反応に種差と個体差が生じた原因究明	5,600,000
基盤研究(C)	森林科学科	齋藤 仁志	准教授	木材生産が可能な林分はどこにあるのか?災害リスクを考慮した供給可能量の推定	1,000,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	杉田 早苗	准教授	基盤 C 民間活力を活かした社会的課題解決に貢献する公共空間の創出方策に関する基礎的研究	600,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	前田 武己	准教授	基盤 C バイオ炭の混合による家畜排せつ物堆肥化時の悪臭低減	300,000
基盤研究(C)	動物医学職員安全教育研究センター	佐藤 至	教授	原発事故帰還困難区域で飼育されている牛の健康状態ならびに食肉の安全性に関する評価	500,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	木村 賢一	教授	琥珀に内包された 9000 万年間の化学反応生成物と生物活性の統合的解析	1,000,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	伊藤 芳明	教授	骨格筋の代謝機能および量的維持に対するインシオシアネート化合物の作用機序解析	900,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	三浦 靖	教授	呈味性と咀嚼・嚥下容易性を制御するための 3 次元造形手法の確立	900,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	磯貝 雅道	教授	植物ウイルスの種子伝染に対する植物の防御機構の解明	600,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	八重樫 元	准教授	チューリップモザイク病の分子機構と生物学的意義の解明	1,000,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	小出 章二	教授	生鮮青果物の新たな過冷却保存法の確立・長期品質保持・環境負荷低減を目指して	400,000
基盤研究(C)	動物科学科	出口 善隆	准教授	多雪地域におけるイノシシの土地選択性	500,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	平田 統一	准教授	基盤 C アルギニン製剤の給与が定時胚移植後の受胎率に及ぼす影響	1,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山田 慎二	准教授	リキッドバイオプシー診断による地方病性牛白血病の発症予測技術の確立	1,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	古市 達哉	教授	運動器疾患の克服に向けた糖ヌクレオチド代謝の基礎研究	1,100,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	木崎 景一郎	教授	基盤 C ウシ栄養膜細胞由来の環状 RNA の同定と機能解析	1,200,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山本 欣郎	教授	頭部筋小体の感覚性長期増強反応および低酸素適応反応におけるシナプス可塑性の役割	600,000

研究種目	学科等	研究代表者氏名	職位	研究課題名	配分額
基盤研究(C)	共同獣医学科	関 まどか	助教	基盤 C 世界初となる単為生殖型肝蛭 3 倍体の分子学的識別法の開発	1,000,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	佐藤 雪太	教授	ヘモプロテウス原虫のベクター探索:国内未確認の原虫感染サイクルの解明	800,000
基盤研究(C)	森林科学科	當山 啓介	准教授	森林計画の分析を通じた実効的な行政計画のあり方の提示	205,209
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス教育 研究センター	由比 進	教授	メンデル遺伝を手軽に体験できるミニトマト教材の開発	400,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	館田 知佳	特任助教	気孔侵入型病原菌による宿主の気孔密度操作を伴うシステム的な感受性誘導機構の解明	800,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	佐原 健	教授	モノミーカイコ出現メカニズム解明と常染色体遺伝子量補正の検証	1,100,000
基盤研究(C)	森林科学科	小藤田 久義	教授	スギ樹皮に含まれる機能性抽出成分の総合的利用に関する研究	600,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	武藤 由子	准教授	作物生育と微生物活動に着目した水分移動過程における畑地土壌中の窒素動態	800,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	折笠 貴寛	准教授	減圧マイクロ波による低環境負荷型乾燥法の確立・品質と環境負荷の最適化を目指して	900,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	小林 沙織	助教	猫遺伝性多発性嚢胞腎の個体別重症度・進行度の差異のメカニズム解明	1,200,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	佐藤 洋	教授	ホルモン依存性腫瘍の系統差の特性解析と治療標的の可能性検証に関する研究	900,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	WIRYASERMKUL PATTAM	准教授	高等真核生物のアミノ酸/ハーモニーをつかさどる交換輸送メカニズムの解析	1,133,540
基盤研究(C)	共同獣医学科	植山 拓矢	准教授	睡眠時無呼吸症候群モデルラット顎関節小体のグルタミン酸受容体による長期増強機構	900,000
基盤研究(C)	動物病院	片山 泰章	教授	慢性腎臓病に対する新規ナゾ治療戦略の確立へ向けての前臨床研究	1,100,000
基盤研究(C)	応用生物化学科	山下 哲郎	教授	魚類におけるイミダゾールジペプチドの生合成機構と生理機能の解明	1,400,000
基盤研究(C)	植物生命科学科	小森 貞男	教授	リンゴのゲノム編集実用化のためのプロトプラストからの個体再生系の確立	1,200,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス教育 研究センター	渡邊 学	助教	リンゴ野生種 <i>Malus hupehensis</i> の相隣交換機構に対する光質の影響解明	1,200,000
基盤研究(C)	寒冷フィールドサイエンス教育 研究センター	白旗 学	助教	ウルシコンテナ育苗時および植栽初期成長におよぼす施肥の影響に関する生理生態的検討	1,200,000
基盤研究(C)	森林科学科	松木 佐和子	講師	北海道で繰り返されるクスサン大発生謎を明らかにする	900,000
基盤研究(C)	森林科学科	伊藤 幸男	准教授	日本の林業雇用になぜ日給制は残存するのか―新たな低賃金構造の解明	1,200,000
基盤研究(C)	食料生産環境学科	塚越 英晴	助教	三陸岩手サケの自然産卵床と種苗生産に係る親魚数と次世代の遺伝的多様性に関する研究	1,700,000
基盤研究(C)	動物科学科	牧野 良輔	准教授	高血糖動物であるニワトリの産肉性・終末糖化産物が与える影響	1,100,000
基盤研究(C)	農学部	中牟田 祥子	特任研究員	ハイギョの原始的鋤鼻器における 2 型鋤鼻受容体および発生関連遺伝子の発現解析	1,200,000
基盤研究(C)	共同獣医学科	山崎 真大	教授	犬パベシア原虫の薬剤耐性獲得機序の解明とそれを基盤とした新規治療法の開発	2,200,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	鈴木 雄二	教授	方法的限界の打破から挑む、かつてない多様な植物種からの優れた Rubisco の発掘	1,000,000
挑戦的研究(萌芽)	食料生産環境学科	石村 学志	准教授	日本独自の経済データと漁獲行動衛星データ解析の統合が可能とする全球水産資源可視化	1,000,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	西山 賢一	教授	細胞内タンパク質選別輸送・膜導入に関わる真核生物由来の糖脂質の同定と構造機能解析	2,500,000
挑戦的研究(萌芽)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	現代人はネコの脂質代謝を模倣して高コレステロール血症を克服できるか?	1,700,000
挑戦的研究(萌芽)	植物生命科学科	川原田 泰之	准教授	細菌性揮発性物質を介した植物の新たな窒素源獲得メカニズムの解明	1,700,000
若手研究	共同獣医学科	前原 都有子	助教	若手・プロスタグランジンによる敗血症の病態制御機構の解明および診断・治療への応用	900,000
若手研究	森林科学科	山崎 遥	助教	多様な樹種に適用可能な天然更新補助作業技術の開発	2,100,000
若手研究	動物科学科	藤井 貴志	准教授	ウシ胚における低温障害の発生機序解明と低温保存技術への応用	1,100,000

研究種目	学科等	研究代表者氏名	職位	研究科題名	配分額
独立基盤形成支援事業	動物科学科	牧野 良輔	准教授	【独立基盤形成支援】高血糖動物であるニワトリの産肉性に終末糖化産物与える影響	1,400,000
研究活動スタート支援	寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	瀬戸 花香	特任助教	開花後の色変わりを引き起こす高分子アントシアニンの解析と育種素材としての有用性	1,100,000
研究成果公開促進費 (ひらとき)	応用生物化学科	宮崎 雅雄	教授	においの科学～ネコのマタビ反応の謎に迫る～	500,000
研究成果公開促進費 (ひらとき)	共同獣医学科	宮崎 珠子	准教授	牛乳の魅力～子牛が飲んだミルクが大変身～	500,000
合 計					108,438,749

6. 非常勤講師

学科	氏 名	科目	勤務先	時間数
科生植 学学命物	金澤 俊成	園芸学Ⅰ	岩手大学教育学部	28
応用生物 化学科	木村 毅	有機化学概論	岩手大学研究支援・産学連携センター	28
	長澤 孝志	食品化学・食品学	岩手大学名誉教授	28
	塚本 知玄	食品衛生学	岩手大学名誉教授	28
	小野田 敏行	公衆衛生学	岩手大学保健管理センター	14
	下飯 仁	産業微生物学	元岩手大学教授、(公財)日本醸造協会	28
	長澤 孝志	美味学	岩手大学名誉教授	14
	塚本 知玄	食品保蔵学	岩手大学名誉教授	28
森林科学 科	佐藤 康	森林科学基礎演習	小岩井農場	3
	立川 史郎	森林測量学Ⅰ	岩手大学名誉教授	28
	立川 史郎	森林測量学実習Ⅰ	岩手大学名誉教授	42
	井良沢 道也	環境防災学	岩手大学名誉教授	28
	井倉 洋二	暖帯林概論	鹿児島大学農学部	28
	山本 清龍	自然環境保全論	東京大学大学院農学生命科学研究科	28
	井良沢 道也	砂防学	岩手大学名誉教授	28
	立川 史郎	森林利用学実習	岩手大学名誉教授	42
食料生産 環境学科	倉島 栄一	構造力学	岩手大学名誉教授	28
	倉島 栄一	構造力学演習	岩手大学名誉教授	28
	森 洋	土質力学	弘前大学農学生命科学部	28
	颯田 尚哉	水資源論	大同大学情報学部総合情報学科/工学部建築学科併任	28
	工藤 将英	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	工藤 浩一	測量学	岩手県土地改良団体連合会	14
	三宅 諭	地域デザイン論	三重大学大学院工学研究科	28
	山口 勝洋	緑地環境学	紫波グリーンエネルギー(株)	2
	三宅 諭	地域景観保全論	三重大学大学院工学研究科	28
	及川 一輝	地域振興政策論	(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス	28
	相川 次郎	海外農林開発論	国際協力機構	28
	溝口 勝	環境修復学	東京大学大学院農学生命科学研究科	12
	松田 英樹	農村地域デザイン学演習	東北農政局農村振興部	3
	久野 叔彦	農村地域デザイン実践論	(株)三祐コンサルタンツ	4
	登尾 浩助	農村地域デザイン実践論	明治大学農学部	8
	長崎 桃子	農村地域デザイン実践論	農林水産省農村振興局	2
	武田 純一	応用数学	岩手大学名誉教授	10
	小舘 琢磨	6次産業化論	岩手県(奥州農業改良普及センター)	4
	庄野 浩資	農業気象・環境学	元岩手大学准教授	28
	武田 純一	農作業システム学	岩手大学名誉教授	28
	武田 純一	農業動力利用学	岩手大学名誉教授	28
	及川 一也	フィールドロボティクス及び農作業安全	(株)クボタ アグリソリューション推進部	6
	片平 光彦	フィールドロボティクス及び農作業安全	山形大学農学部食料生命環境学科	2

学科	氏 名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	菊池 豊	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業機械研究部門	14
	熊谷 悦史	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門	2
	清水 一孝	フィールドロボティクス及び農作業安全	(株)西部開発農産	2
	盛川 周祐	フィールドロボティクス及び農作業安全	(有)盛川農園	2
	山下 善道	フィールドロボティクス及び農作業安全	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター農業放射線研究センター	2
	山本 聡史	フィールドロボティクス及び農作業安全	秋田県立大学生物資源科学部	2
	庄野 浩資	食産業システム学実験Ⅰ	元岩手大学准教授	12
	武田 純一	食産業システム学実験Ⅰ	岩手大学名誉教授	12
	庄野 浩資	食産業システム学実験Ⅱ	元岩手大学准教授	6
	武田 純一	食産業システム学実験Ⅱ	岩手大学名誉教授	12
	羽野 誠一郎	食産業システム学実験Ⅱ	(株)キセキ東北	3
	庄野 浩資	植物環境物理学	元岩手大学准教授	28
	大野 和彦	6次産業化論	海光物産(株)	2
	木村 拓哉	6次産業化論	(一社)東の食の会	4
	鈴木 允	6次産業化論	日本サステナブルシーフード協会	2
	今村 央	水産動物学	北海道大学大学院水産科学研究院	8
	梶原 昌五	水産動物学	岩手大学教育学部	4
	和田 哲	水産動物学	北海道大学大学院水産科学研究院	12
	難波 信由	水産植物学	北里大学海洋生命科学部	28
	下瀬 環	漁業資源生態学	(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所	28
	于 克鋒	水圏環境学	元岩手大学農学部特任研究員	28
	落合 芳博	水産食品加工学	元東北大学大学院農学研究科	4
	神谷 慎一	水産食品加工学	神谷食品研究所	2
	前多 隼人	水産食品加工学	弘前大学農学生命科学部食料資源学科	4
	渡部 終五	水産食品加工学	北里大学海洋生命科学部客員教授	4
	内田 基晴	水産食品化学	合同会社シーベジタブル	2
	今野 久仁彦	水産食品化学	北海道大学名誉教授	4
	田中 教幸	水産食品化学	元岩手大学教授	4
	任 恵峰	水産食品化学	元東京海洋大学教授	2
	于 克鋒	水産食品化学	元岩手大学農学部特任研究員	2
	佐藤 繁	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	9
	中村 修	水産微生物学	北里大学海洋生命科学部	19
	赤木 徳顕	経営管理学入門	帝京大学経済学部経営学科	16
	稲垣 秀悦	経営管理学入門	いわぎん事業創造キャピタル(株)	2
	木村 拓哉	経営管理学入門	(一社)東の食の会	2
	垣添 直也	経営管理学入門	日本水産(株)/マリン・エコラベル・ジャパン協議会	4
	鈴木 良太	経営管理学入門	チーム漁火	2
	阿部 拓三	自然環境論	南三陸町	8
	野村 一郎	環境経済学・資源経済学入門	インドネシア漁業省	4
	阿部 景太	環境経済学・資源経済学入門	武蔵大学経済学部	4
	岡崎 宗昭	水産物流・マーケティング論	知恵工房	2
	神谷 慎一	水産物流・マーケティング論	神谷食品研究所	2
	高橋 剛一	水産物流・マーケティング論	岩手県すし業生活衛生同業組合	2

学科	氏 名	科目	勤務先	時間数
食料生産環境学科	太田 慎吾	水産制度学	(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構	4
	長谷 成人	水産制度学	(一財)東京水産振興会	4
	阿部 景太	水産制度学	武蔵大学経済学部	8
	山内 愛子	水産政策学	(株)シーフードレガシー	4
	森 晃也	コミュニケーション論	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)	6
	阿部 景太	漁業資源管理学	武蔵大学経済学部	8
	一木 重夫	漁業資源管理学	地域資源研究所	4
	太田 慎吾	漁業資源管理学	(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構	2
	野呂 恭成	漁業資源管理学	(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所	2
	長谷 成人	漁業資源管理学	(一財)東京水産振興会	2
	鈴木 允	漁業資源管理学	日本サステナブルシーフード協会	2
	末武 弘章	水産生命科学特別講義	福井県立大学	14
	深田 陽久	水産生命科学特別講義	高知大学	14
動物科学科	谷口 和美	動物形態学Ⅰ	元北里大学獣医学部准教授	28
	谷口 和美	動物形態学Ⅱ	元北里大学獣医学部准教授	28
	平松 浩二	動物組織学	信州大学農学部	14
	小田 伸一	動物栄養学	元岩手大学准教授	28
	小田 伸一	愛玩動物栄養学	元岩手大学准教授	14
	小松 守	動物園学	秋田市大森山動物園	14
	西 千秋	野生動物学	(合)岩手野生動物研究所	14
	水谷 啓司	動物科学実験Ⅱ	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	3
	中村 哲雄	牧場実習	葛巻町畜産開発公社	17
共同獣医学科	山手 寛嗣	獣医倫理	松園動物病院	2
	下川 哲哉	解剖学実習	愛媛大学大学院医学系研究科	6
	福田 智一	獣医遺伝育種学	岩手大学理工学部	4
	古濱 和久	薬理学実習	元岩手大学教授	21
	秦 英司	病原微生物学	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所札幌研究拠点	2
	板垣 匡	原虫・原虫病学	岩手大学名誉教授	30
	豊田 武士	動物病理学総論	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター	4
	寺嶋 淳	公衆衛生学総論	元岩手大学教授	14
	寺嶋 淳	人獣共通感染症学	元岩手大学教授	30
	白岩 利恵子	公衆衛生学実習	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	3
	古濱 和久	毒性学実習	元岩手大学教授	9
	辻本 恒徳	野生動物学	盛岡市動物公園	15
	白岩 利恵子	食品衛生学実習	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	3
	高橋 孝嗣	食品衛生学実習	岩手県食肉衛生検査所	3
	大田 寛	消化器病学	酪農学園大学獣医学群	4
	渡邊 一弘	消化器病学	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科	2
	伊丹 貴晴	麻酔学・手術学	酪農学園大学獣医学群獣医学類	12
	伊丹 貴晴	小動物外科学実習・基礎編	酪農学園大学獣医学群獣医学類	6
	大野 晃治	小動物内科学実習・応用編	(株)男鹿水族館 GAO	3
	松原 ゆき	小動物内科学実習・応用編	(株)もりおかパークマネジメント	3
	岡田 啓司	小動物内科学実習・応用編	岩手大学名誉教授	6
	稲葉 睦	血液免疫病学	北海道大学大学院獣医学研究院	4

学科	氏 名	科目	勤務先	時間数
共同獣医学科	内田 直宏	臨床腫瘍学	東京農工大学	8
	高木 哲	臨床腫瘍学	麻布大学獣医学部	12
	足立 眞也	総合参加型臨床実習	小岩井農牧(株)	20
	田高 恵	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	藤田 茂	総合参加型臨床実習	岩手県農業共済組合岩手県北基幹家畜診療所	30
	大澤 健司	臨床繁殖学実習	宮崎大学農学部	6
	岡村 雄司	臨床繁殖学実習	おかむらアニマルクリニック	6
	野口 倫子	臨床繁殖学実習	麻布大学獣医学部	6
	佐藤 繁	産業動物臨床学Ⅰ	岩手大学名誉教授	30
	岡田 啓司	産業動物臨床学Ⅱ	岩手大学名誉教授	20
	笠嶋 快周	産業動物臨床学Ⅱ	JRA 競走馬総合研究所	2
	笠嶋 快周	馬臨床学	JRA 競走馬総合研究所	15
	安田 出	大動物臨床実習・基礎編	安田動物病院	3
	鈴木 一由	大動物臨床実習・応用編	酪農学園大学獣医学群	6
	木村 祐哉	人と動物関係学	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部	10
	辻本 恒徳	人と動物関係学	盛岡動物公園	10
	松浦 晶央	人と動物関係学	北里大学獣医学部動物資源科学科	8
	岡田 啓司	動物品種論	岩手大学名誉教授	8
	佐藤 れえ子	動物品種論	岩手大学名誉教授	4
	辻本 恒徳	動物品種論	盛岡市動物公園	4
	曾我 慶介	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所生化学部	2
	板垣 匡	食品安全管理学	岩手大学名誉教授	2
	岡田 啓司	食品安全管理学	岩手大学名誉教授	2
	白岩 利恵子	食品安全管理学	(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター	2
	高橋 孝嗣	食品安全管理学	岩手県食肉衛生検査所	2
	寺嶋 淳	食品安全管理学	元岩手大学教授	8
	六鹿 元雄	食品安全管理学	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部	2
専門基礎科目・学部共通科目	奈良 光紀	基礎数学入門	岩手大学理工学部	28
	尾臺 喜孝	線形代数学入門	岩手大学理工学部	28
	花原 和之	微分積分学入門	岩手大学理工学部	28
	花見 仁史	物理学入門	岩手大学理工学部	28
	花見 仁史	物理学	岩手大学理工学部	28
	嶋田 和明	化学	岩手大学名誉教授	28
	竹原 明秀	生物学入門	岩手大学人文社会科学部	6
	厚井 高志	地学入門	北海道大学広域複合災害研究センター	4
	柳澤 忠昭	地学入門	盛岡中央ゼミナール	6
	石垣 剛	基礎物理学実験	岩手大学理工学部	42
	木村 毅	基礎化学実験	岩手大学研究支援・産学連携センター	42
	竹原 明秀	基礎生物学実験	岩手大学人文社会科学部	9
	ベンジャミン・ブレア	科学英語(植物)	フリーランス(英語)	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語(食料)	フリーランス(英語)	28
	ベンジャミン・ブレア	科学英語(動物)	フリーランス(英語)	28
	若生 和江	地域おこし論	惣菜弁当加工販売「やまんば工房」	2
	岡本 翔馬	地域おこし論	NPO 法人桜ライン 311	2
	田中 亜弓	地域おこし論	一般財団法人ペットの里	2

学科	氏 名	科目	勤務先	時間数
専門基礎科目・学部共通科目	岩崎 昭子	地域おこし論	根浜 MIND/宝来館	2
	黍原 豊	地域おこし論	(一社)三陸駒舎	2
	高浜 大介	地域おこし論	(株)アースカラー	2
	藤原 朋	地域おこし論	(株)ソーシャル・ネイチャー・ワークス	2
	若菜 千穂	地域おこし論	NPO 法人いわて地域づくり支援センター	2
	富川 岳	地域おこし論	(株)富川屋	2
	松本 篤英	地域おこし論	ピネムの森	2
	渡邊 和義	地域おこし論	オフィス SUGOROKU	2
	須川 翔太	地域おこし論	紫波町役場	2

大学院総合科学研究科農学専攻

専攻	氏 名	科 目	勤 務 先	時間数
植物生命科学コース	上村 松生	植物生命科学特別講義	岩手大学名誉教授	14
	阿部 陽	遺伝子農学特論	(公財)岩手生物工学研究センター	28
応用生物化学コース	上杉 祥太	応用生物化学特別講義	(公財)岩手生物工学研究センター	14
動物科学コース	深澤 充	動物科学特別講義	東北大学大学院農学研究科	14

大学院獣医学研究科

氏 名	科 目	勤 務 先	時間数
笠嶋 快周	獣医臨床医科学外演習	JRA 競走馬総合研究所	12
山本 健久	獣医衛生科学外演習（農研機構）	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域 疫学・昆虫媒介感染症グループ	34

客員教授・客員准教授

施設等	氏 名	研究テーマ	勤 務 先	時間数
教動物研究学セン食品安全 全	吉富 真理 (客員教授)	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センターの健康な家畜の生産と食の安全・安心に関する研究における、専門的立場からの助言	国立保健医療科学院生活環境研究部 衛生環境管理研究領域	15
	五島 朋子 (客員教授)		農林水産省消費・安全局食品安全政策課	15
	室賀 紀彦 (客員教授)		農林水産省消費・安全局動物衛生課	15
	和田 賢二 (客員教授)		山形県農業共済組合家畜部	15
動物病院	宮田 真智子 (客員教授)	犬と猫の問題行動に関する研究における、専門的立場からの指導・助言	岩手大学農学部附属動物病院	192
獣医学研究科	山本 健久 (客員教授)	岩手大学大学院獣医学研究科における、専門的立場からの指導・助言	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門	48
	笠嶋 快周 (客員教授)		JRA 競走馬総合研究所	48

施設等	氏 名	研究テーマ	勤 務 先	時間数
食料生産環境学科	今野 久仁彦 (客員教授)	学生研究指導	北海道大学名誉教授	16
	任 恵峰 (客員教授)		元東京海洋大学教授	16
	安住 和久 (客員教授)		北海道大学特任教授	16
	阿部 景太 (客員准教授)	米国 Pew 財団研究プロジェクトの研究推進と業務管理、Google の研究プロジェクト及び Global Fishing Watch の研究プロジェクトの研究推進のための専門的立場からの指導・助言	武蔵大学経済学部	110

令和5年度各種委員会名簿（農学部）

（◎印は委員長【室長】・議長、○印は副委員長【班長】）

令和5年4月1日以降

学科等 委員会		植物生命 科学	応用生物 化学	森林科学	食料生産 環境	動物科学	共同獣医	寒冷 フィールド	動物病院	動物 センター	臨床・疾 病制御セ ンター	植物園	農業教育 資料館	評議員	事務部等	任 期 等
1	学部運営会議	小森	西山	真坂	飯田	築城	落合	由比	片山	佐藤(至)	落合			木崎 小出 澤井	◎学部長 副学部長 事務長	2年 学科長・FSC長 R4. 4. 1～R6. 3. 31 病院長・FAMS長・FCD長 R5. 4. 1～R7. 3. 31 学部長、副学部長、評議員2 学科長6、4施設から施設長各1、事務長
2	教員人事委員会	小森、村上、山本(信)												木崎 小出 澤井	◎学部長	2年 R5. 4. 1～R7. 3. 31 教授会において選出された教授3名
3	教員評価委員会	×												木崎 小出 澤井	◎学部長	学部長指名の評議員 その他学部長指名
4	企画室 将来計画班	○澤井、小森、川原田、山田(和)、齋藤(仁)、折笠、西向、山崎(真)												木崎 小出 澤井	◎学部長 副学部長 事務長	2年 R5. 4. 1～R7. 3. 31(特命班を除く) 学部長(室長)、副学部長、評議員、事務長 ・将来計画班 班長(組織検討委員会委員) ・財務班 班長(財務委員会委員) ・特命班 必要に応じ設置 学部長指名の教員 各班5名程度
	財務班	○木崎、ラーマン、齋藤(靖)、武藤、渡邊														
	カリキュラム特命班	○澤井、小出、畠山、伊藤(芳)、河村、西山、尾崎、國崎、平井、山本(信)														
5	点検評価委員会	八重樫	山下	國崎	石村	澤井	中牟田	高田						◎木崎		2年 R4(R5). 4. 1～R6(R7). 3. 31(半数交代) 評議員(全学点検評価委員会委員) 各学科各1、3施設1、その他学部長指名
6	教務委員会	松波 佐原	立石 山田(和)	関野	山本(清) 木下 平井	○西向	高橋(正) ◎古市								副学部長	2年 R4(R5). 4. 1～R6(R7). 3. 31(半数交代) 副学部長、食料生産環境各コース及び 森林科学及び動物科学各1、他3学科各2
7	学生支援委員会	立澤	立石	○松木	折笠	◎澤井	一條									2年 R4(R5). 4. 1～R6(R7). 3. 31(半数交代)
8	入試委員会	畠山	◎宮崎(雅)	東	○前田 袁	西向	森田 大沼									2年 R4(R5). 4. 1～R6(R7). 3. 31(半数交代) 食料生産環境(農村コースか食産業コースから1、水産コースから1)及び共同獣医から各2、 他4学科から各1
9	施設委員会	磯貝	伊藤(芳)	伊藤(幸)	武藤	村元	高橋(透)	平田	星野	佐藤(至)		八重樫		◎澤井		2年 R4(R5). 4. 1～R6(R7). 3. 31 (半数交代) 評議員1、各学科各1、4施設各1
10	国際交流委員会	ラーマン ～R7. 3. 31	鈴木 ～R6. 3. 31	真坂 ～R6. 3. 31	○飯田 ～R8. 3. 31	◎澤井 ～R7. 3. 31	宮崎(珠) ～R8. 3. 31									3年 R3(R5). 4. 1～R6(R8). 3. 31(3分の1交代) 各学科から各1
11	広報委員会	河村	齋藤(靖)	東	濱上 松嶋 ○袁	出口	横山 関	白旗	森田	山崎(朗)				◎木崎		2年 R4(R5). 4. 1～R6(R7). 3. 31(半数交代) 評議員1、共同獣医学科から2、食料生産 環境各コース及び他4学科から各1、 3施設から各1
12	農学系技術部 運営委員会	松波	三浦	山崎(遥)	前田	出口	内田	山本(信)	片山 ～R6. 3. 31						◎技術部長 技術室長 事務長	2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 各学科から各1、2施設から各1 (教授又は准教授) 農学系技術部長、 技術室長、事務長、技術室企画運営室員
13	教育研究園場 運営委員会	◎下野	立石	山崎(遥)	石村	出口	金澤	○渡邊	宮崎(珠)	佐々木						2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 各学科から各1、3施設から各1
14	寒冷フィールド サイエンス教育研究 センター運営委員会	佐原	立石	伊藤(幸)	山本(清)	出口	山田(鈴)	◎由比 山本(信) 平田 白旗 渡邊 高田	片山 ～R6. 3. 31	山崎(朗)					事務長	2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 センター長、次長、専任教員 各学科から各1、2施設から各1 農学系技術部(農学系第一技術室及び 農学系第二技術室)から各1
15	動物病院運営協議会	安	伊藤(芳)	東	塚越	村元	落合 佐藤(洋) ※片山 ※高橋(透)		◎片山 星野						病院事務 職員	2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 病院長、各学科(共同獣医を除く)から 各1、共同獣医学科2、※診療主任2、 病院専任教員、病院事務職員

学科等 委員会		植物生命 科学	応用生物 化学	森林科学	食料生産 環境	動物科学	共同獣医	寒冷 フィールド	動物病院	動物 センター	臨床・疾 病制御セ ンター	植物園	農業教育 資料館	評議員	事務部等	任 期 等
16	動物医学食品安全 教育研究センター 運営委員会	ラーマン	伊藤(芳)	東	小出	澤井	×	片山 ～R6. 3. 31		◎佐藤(至)						2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 センター長、副センター長、部門長、 ユニット長、各学科から教授又は准教授 を各 1 (※センター長、副センター長、 部門長の所属学科を除く)、 2 施設いずれかから教授又は准教授 1、 センター専任教員、その他センター長指名
17	産業動物臨床・疾病 制御教育研究セン ター運営委員会	小森	山下	國崎	濱上	澤井	×	片山 ～R6. 3. 31			◎落合					2年 R4. 6. 1～R6. 3. 31 センター長、副センター長、部門長、 センター特任教員、各学科から教授又は准 教授を各 1 (※センター長、副センター長、 部門長の所属学科を除く)、 2 施設いずれかから教授又は准教授 1、 その他センター長指名
18	植物園運営委員会	八重樫	立石	國崎	袁	澤井	佐々木					◎真坂				2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 植物園長、各学科から各 1
19	農業教育資料館 運営委員会	河村	○山田(和)	齋藤(仁)	武藤	澤井	小林						◎佐藤(至)			2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 館長、副館長、各学科から各 1
20	自然エネルギー利用 温室運営委員会	◎下野	鈴木	東	濱上	村元	中田									2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 各学科から各 1
21	生物環境制御装置室 運営委員会	畠山	◎鈴木	伊藤(幸)	松嶋 ～R6. 3. 31	村元	前原									2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 各学科から各 1
22	環境管理委員会	安	斎藤(靖)	齋藤(仁)	前田	出口	山崎(朗)	山本(信)	森田					◎小出		2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 各学科から各 1、2 施設から各 1、 その他学部長指名

(総合科学研究科農学専攻)

コース等 委員会		植物生命 科学	応用生物 化学	動物科学	事務部等	任 期 等
23	農学専攻運営委員会	小森	西山	築城	◎専攻長 副専攻長 事務長	2年 R4. 4. 1～R6. 3. 31 専攻長(伊藤菊)、副専攻長(西山)、コース長 3
24	農学専攻学務委員会	佐原	鈴木	村元	◎副専攻長	2年 R5. 4. 1～R7. 3. 31 副専攻長、各コースから各 1

III 学 生

1. 入試

(1) 令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目及び個別学力検査実施教科・科目等

学科・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名	個別学力検査実施教科・科目名等
植物生命科学科 応用生物化学科 森林科学科 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース 水産システム学コース 動物科学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経) 数【(数I,数I・数Aから1)と(数II,数II・数B,簿,情報から1)】	数(数I・数II・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物) } から1 [1教科1科目] 大学入学希望理由書
	後期日程	理(物理,化学,生物,地学から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	面接
共同獣医学科	前期日程	国(国) 地歴(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B) } から1 公民(現社,倫,政経,倫政経) 数【数I・数Aと(数II・数B,簿,情報から1)】	数(数I・数II・数A・数B) 理(物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物から1) [2教科2科目] 大学入学希望理由書
	後期日程	理(物理,化学,生物から2) 外【英(リスニングテストを含む),独,仏,中,韓から1】 [5教科7科目]	面接

(2) 令和6年度大学入学共通テスト及び個別学力検査等の評価・配点

日程	試験区分 学科・コース		大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点								合計
			国語	地歴	公民	数学		理科	外国語	小計	数学 数Ⅰ数Ⅱ・ 数Ⅲ数Ⅳ	理科			面接	大学入学 希望理由書	小計		
						数学 ①	数学 ②					物理基 礎物理	化学基 礎化学	生物基礎 ・生物					
前期日程	植物生命科学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
	応用生物化学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
	森林科学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
		食産業 システム学コース																	
		水産 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
	動物科学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	(300)	(300)	(300)	(300)		20	320	1,220
共同獣医学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900	200	(200)	(200)	(200)		20	420	1,320	
後期日程	植物生命科学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
	応用生物化学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
	森林科学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
	食料生産 環境学科	農村地域 デザイン学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
		食産業 システム学コース																	
		水産 システム学コース	200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000
	動物科学科		200	(100)	(100)	100	100	100	100	200	900					100		100	1,000

備考：表中の（ ）は、選択科目であることを表す。

(3) 令和6年度入学者選抜状況

大学入学共通テスト 令和6年1月13日～令和6年1月14日

総合型 出願期間 令和5年12月1日～令和5年12月6日
 個別学力検査 令和5年12月27日
 合格発表 令和6年2月8日

一般選抜（前期日程・後期日程） 出願期間 令和6年1月22日～令和6年2月2日

前期日程 個別学力検査 令和6年2月25日
 合格発表 令和6年3月6日
 後期日程 個別学力検査 令和6年3月12日
 合格発表 令和6年3月20日

学科名		区分	募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		前期	26	46	32	31
		後期	4	22	4	4
		学校推薦型	5	14	5	5
		総合型Ⅱ	5	5	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
応用生物化学科		前期	32	67	32	32
		後期	3	25	3	3
		学校推薦型	3	24	5	5
		総合型Ⅱ	2	10	3	3
		私費外国人	若干名	0	0	0
森林科学科		前期	16	23	19	19
		後期	3	18	3	2
		学校推薦型	6	10	6	6
		総合型Ⅱ	5	6	4	4
		私費外国人	若干名	0	0	0
食料生産環境学科	農村地域デザイン学コース 食産業システム学コース	前期	26	41	30	29
		後期	4	14	4	4
		学校推薦型	6	10	7	7
		総合型Ⅱ	4	4	4	4
		私費外国人	若干名	0	0	0
	水産システム学コース	前期	10	19	13	13
		後期	3	17	3	3
		学校推薦型	5	3	3	3
		総合型Ⅱ	2	2	2	2
		私費外国人	若干名	0	0	0
動物科学科		前期	20	41	24	20
		後期	3	20	3	3
		学校推薦型	7	24	7	7
		総合型Ⅱ	－	－	－	－
		私費外国人	若干名	0	0	0
共同獣医学科		前期	20	103	24	23
		後期	－	－	－	－
		学校推薦型	－	－	－	－
		総合型Ⅱ（一般枠）	8	68	10	10

	総 合 型Ⅱ (地域枠)	2	1	0	0
	私費外国人	若干名	3	0	0
計	前 期	150	340	174	167
	後 期	20	116	20	19
	学校推薦型	32	85	33	33
	総 合 型Ⅱ	28	96	25	25
	私費外国人	若干名	3	0	0
合 計		230	640	252	244

(4) 令和6年度学校推薦型選抜状況

選考方法 小論文, 面接, 推薦書, 調査書及び本人の出願理由書

出願期間 令和5年11月 1日～令和5年11月 7日

選考試験 令和5年11月21日 小論文及び面接

合格発表 令和5年12月 1日

学 科 名		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		5	14	5	5
応用生物化学科		3	24	5	5
森 林 科 学 科		6	10	6	6
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	6	10	7	7
	食産業システム学コース				
	水産システム学コース	5	3	3	3
動 物 科 学 科		7	24	7	7

(5) 令和6年度植物生命科学科・応用生物化学科・食料生産環境学科・動物科学科編入学選抜状況

選考方法 調査書, 小論文及び面接 (口頭試問を含む)

出願期間 令和5年5月29日～令和5年5月31日

選考試験 令和5年6月23日 小論文及び面接

合格発表 令和5年7月14日

学科・コース		募集人員	志願者	合格者	入学者
植物生命科学科		1	0	0	0
応用生物化学科		1	3	0	0
食料生産 環境学科	農村地域デザイン学コース	2	1	1	0
	食産業システム学コース		1	0	0
	水産システム学コース		0	0	0
動 物 科 学 科		1	0	0	0

(6) 令和5年10月入学及び令和6年4月入学大学院総合科学研究科（修士課程）選抜状況

ア 日程

推薦入試

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
5. 6. 5～5. 6. 7	5. 7. 3	5. 7. 11

令和5年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
5. 7. 12～ 5. 7. 14	5. 8. 21～ 5. 8. 22	5. 9. 4

令和6年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	5. 7. 12～ 5. 7. 14	5. 8. 21～ 5. 8. 22	5. 9. 4
第2期	5. 12. 5～ 5. 12. 7	6. 1. 23～ 6. 1. 24	6. 2. 7

イ 志願者・合格者・入学者

推薦入試

専攻・コース名	募集人員	志願者	合格者	入学者
地域創生専攻 地域産業コース	—	12	12	12
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	—	0	0	0
合 計	—	12	12	12

令和5年10月入学

専攻名	募集人員	志 願 者			合格者	入学者
		一 般 入 試	社 会 人 入 試	外国人 留学生 入 試		
農学専攻 植物生命科学コース	若干名	1	0	1	1	0
農学専攻 応用生物化学コース		0	1	0	1	1
農学専攻 動物科学コース		0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域産業コース	—	0	0	0	0	0
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース	—	0	0	0	0	0
合 計	—	0	0	0	0	0

令和6年4月入学

専攻・コース名	募集 人員	第1期募集				第2期募集				入学者
		志 願 者			合格者	志 願 者			合格者	
		一 般 入 試	社 会 人 入 試	外 国 人 留 学 生 入 試		一 般 入 試	社 会 人 入 試	外 国 人 留 学 生 入 試		
農学専攻 植物生命科学コース	50	9	0	0	6	4	0	0	4	9
農学専攻 応用生物化学コース		21	0	0	21	0	0	0	0	21
農学専攻 動 物 科 学 コー ス		12	0	0	12	0	0	0	0	12
地域創生専攻 地 域 産 業 コー ス	—	4	0	0	3	5	0	0	5	6
地域創生専攻 地域・コミュニティ デザインコース	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	—	46	0	0	42	10	0	0	8	48

(7) 令和5年10月入学及び令和6年4月入学大学院獣医学研究科（博士課程）選抜状況

ア 日程

令和5年10月入学

出願期間	学力検定試験日	合格発表日
5. 7. 12～ 5. 7. 14	5. 8. 23	5. 9. 4

令和6年4月入学

区分	出願期間	学力検定試験日	合格発表日
第1期	5. 7. 12～ 5. 7. 14	5. 8. 23	5. 9. 4
第2期	5. 12. 5～ 5. 12. 7	6. 1. 25	6. 2. 7

イ 志願者・合格者・入学者

令和5年10月入学

専攻	募 集 人 員	志 願 者		合格者	入学者
		一 般 入 試	外 国 人 留 学 生 特 別 入 試		
共同獣医学専攻	若干名	0	0	0	0

令和6年4月入学

専攻	募 集 員 人	第1期募集			第2期募集			入学者
		志 願 者		合格者	志 願 者		合格者	
		一 般 入 試	外 国 人 留 学 生 特 別 入 試		一 般 入 試	外 国 人 留 学 生 特 別 入 試		
共同獣医学専攻	5	2	0	2	4	0	4	6

2. カリキュラム

(1) 植物生命科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	農学概論	2	
	作物栽培学	2	
	食用作物学Ⅰ	2	
	食用作物学Ⅱ		2
	園芸学Ⅰ	2	
	園芸学Ⅱ	2	
	園芸学Ⅲ		2
	基礎遺伝学	2	
	植物育種学Ⅰ	2	
	植物育種学Ⅱ	2	
	遺伝育種学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology	2	
	植物生理学	2	
	植物病理学Ⅰ	2	
	植物病理学Ⅱ	2	
	植物ウイルス学		2
	応用昆虫学Ⅰ	2	
	応用昆虫学Ⅱ	2	
	昆虫生理学		2
	農業経済学	2	
	食料・農業政策論		2
	農業経営学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	植物生命科学実験Ⅰ	1	
	植物生命科学実験Ⅱ	1	
	植物生命科学実験Ⅲ	1	
	植物生命科学実験Ⅳ	1	
	農学のための倫理		1
	植物生命科学と倫理	1	
	農業時事演習		1
	植物生命科学演習Ⅰ	1	
	植物生命科学演習Ⅱ	1	
	フィールド管理学		2
	農場実習Ⅰ	1	
	農場実習Ⅱ		1
	農場特別実習		1
	生化学Ⅰ	2	
	生化学Ⅱ		2
	分子生物学Ⅰ	2	
専門展開科目	土壌資源利用論		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	植物栄養学・肥科学		2
	植物栄養生理学		2
	生化学Ⅲ		2
	分子生物学Ⅱ		2
	基礎分析化学		2
	農業気象・環境学		2
	有機化学概論		2
	植物ストレス応答学		2
	微生物学概論		2
	生鮮食品保存科学		2
必要修得単位数		53	38
合計必要修得単位数		91	

(2) 応用生物化学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習	1	
	物理学入門	2	
	基礎物理学実験	1	
	物理学	2	
	化学入門	2	
	化学	2	
	生物学入門	2	
	基礎生物学実験	1	
	生物学	2	
	地学入門	2	
	基礎化学実験	1	
			5
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語	2	
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	有機化学概論	2	
	生化学Ⅰ	2	
	基礎分析化学	2	
	生化学Ⅱ	2	
	土壌資源利用論	2	
	食品化学・食品学	2	
	食品化学工学	2	
	天然物化学	2	
	微生物学概論	2	
	栄養化学・栄養学	2	
	分子生物学Ⅰ	2	
	植物栄養生理学	2	
	細胞生物学		2
	農学のための倫理		1
	ケミカルバイオロジー	2	
	微生物生理学	2	
	植物栄養学・肥料学	2	
	食品衛生学	2	
	生化学Ⅲ		2
	食品加工物理化学		2
	遺伝子工学		2
	分子生物学Ⅱ		2
	公衆衛生学		1
	機器分析化学	2	
	産業微生物学		2
	土壌環境微生物学・生化学		2

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	美味学		2
	食品保蔵学		2
	食品機能学		2
	植物ストレス応答学		2
	応用生物化学プレゼンテーション演習	1	
	応用生物化学演習Ⅰ	1	
	応用生物化学演習Ⅱ	1	
	応用生物化学実験Ⅰ	3	
	応用生物化学実験Ⅱ	5	
専門展開科目	植物生理学		2
	環境植物生理学		2
	General Plant Biology		2
	林産化学		2
	作物栽培学		2
	食用作物学Ⅰ		2
	植物育種学Ⅰ		2
	植物病理学Ⅰ		2
	応用昆虫学Ⅰ		2
	農業経済学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生鮮食品保存科学		2
	動物資源利用学Ⅰ		2
	動物資源利用学Ⅱ		1
	水産微生物学		2
	水産食品加工学		2
	水産食品化学		2
	生命情報学		2
	医薬科学		2
必要修得単位数		57	34
合計必要修得単位数		91	

(3) 森林科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学	2	
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		4	3
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ	1	
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	森林科学入門	2	
	森林科学基礎演習	1	
	木材と住宅	2	
	森林計測学	2	
	林業・木材産業論	2	
	森林測量学Ⅰ	2	
	森林測量学実習Ⅰ	2	
	環境防災学		2
	樹木学	2	
	樹木学実習	1	
	暖帯林概論		1
	森林科学研修	1	
	技術者倫理入門	2	
	林産化学	2	
	森林・雪氷水文学		2
	山村経済・地域おこし論		2
	森林測量学Ⅱ	2	
	森林測量学実習Ⅱ	2	
	森林利用学	2	
	地域生態系保全論		2
	野生動物管理学	2	
	森林保全生態学		2
	森林バイオマスの成分利用		2
	森林化学演習		1
	砂防学	2	
	森林利用学実習	2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	海外・日本の林業	2	
	森林政策学	2	
	森林造成学	2	
	森林造成学実習	2	
	森林計測学実習	1	
	自然環境保全論		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	野生動物管理学実習		1
	環境と樹木の生理		2
	森林保護学		2
	森林科学応用演習Ⅰ	1	
	砂防学実習	1	
	森林計画学		2
	データ分析演習		1
	森林科学応用演習Ⅱ	1	
	公開森林実習		1
専門展開科目	応用昆虫学Ⅰ		2
	植物生理学		2
	植物病理学Ⅰ		2
	植物病理学Ⅱ		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	生化学Ⅰ		2
	微生物学概論		2
	分子生物学Ⅰ		2
	機器分析化学		2
	応用力学		2
	応用数学		2
	構造力学		2
	水理学		2
	緑地環境学		2
	施設開発管理学		2
	地域景観保全論		2
	フィールドロボティクス及び農作業安全		2
必要修得単位数		59	32
合計必要修得単位数		91	

(4)－1 食料生産環境学科 農村地域デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門	2	2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		
	化学入門		
	化学		
	生物学入門	1	2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		
	基礎生物学実験		
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		
	インターンシップ		
	科学英語		
	科学文献読解法		
	海外特別実習		
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	構造力学	2	1
	構造力学演習		
	土質力学	2	
	土質力学演習		
	測量学	2	1
	測量学基礎実習	1	
	測量学フィールド実習	1	
	地理情報処理学	2	
	地理情報処理演習		1
	スマート農業概論	2	
	水理学	2	
	水資源論	2	
	水理学実験演習		1
	土壌物理学	2	
	施設開発管理学	2	
	水文・水利学	2	
	農地工学	2	1
	土壌・土質実験		
	材料実験		
	地域デザイン論	2	
	環境防災学		2
	農村計画学	2	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	緑地環境学	2	2
	地域生態系保全論		2
	地域景観保全論		2
	地域振興政策論		
	海外農林開発論		
	環境修復学	1	2
	農村地域デザイン学演習		2
	農村地域デザイン実践論		
	農村地域デザイン学セミナー		1
専門展開科目	作物栽培学		2
	農業経済学		2
	農業気象・環境学		2
	栽培施設学Ⅰ		2
	食料・農業政策論		2
	農業動力利用学		2
	土壌資源利用論		2
	土壌環境微生物学・生化学		2
	栽培施設学Ⅱ		2
	有機化学概論		2
	天然物化学		2
	基礎分析化学		2
	機器分析化学		2
	食品化学工学		2
	食品加工物理化学		2
	木材と住宅		2
	野生動物管理学		2
	砂防学		2
	農業循環工学		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(4)－2 食料生産環境学科 食産業デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門	2	
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験	1	
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
		3	6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学	2	
	応用力学	2	
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	栽培施設学Ⅰ	2	
	農業気象・環境学	2	
	栽培施設学Ⅱ		2
	スマート農業概論		2
	農作業システム学	2	
	農業動力利用学	2	
	フィールドロボティクス及び農作業安全		2
	農業循環工学	2	
	機械と施設の設計	2	
	ものづくり実習	1	
	ポストハーベスト工学	2	
	熱工学	2	
	農産食品プロセス工学	2	
	生鮮食品保存科学	2	
	農業経済学	2	
	農業経営学		2
	食料・農業政策論	2	
	農業時事演習	1	
	食産業システム学実験Ⅰ	1	
	食産業システム学実験Ⅱ	1	
	食産業システム学演習	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	農場実習Ⅰ	1	
専門展開科目	作物栽培学		2
	基礎遺伝学		2
	フィールド管理学		2
	食用作物学Ⅰ		2
	園芸学Ⅰ		2
	園芸学Ⅱ		2
	園芸学Ⅲ		2
	植物育種学Ⅰ		2
	植物病理学Ⅰ		2
	応用昆虫学Ⅰ		2
	植物生理学		2
	農場実習Ⅱ		1
	農場特別実習		1
	制御工学		2
	ロボティクス工学		2
	土質力学		2
	地域生態系保全論		2
	地理情報処理学		2
	水資源論		2
	水理学		2
	土壌物理学		2
	農地工学		2
	農村計画学		2
	土壌資源利用論		2
	植物栄養学・肥科学		2
	食品化学工学		2
	食品化学・食品学		2
	微生物学概論		2
	食品機能学		2
	食品保蔵学		2
	美味学		2
	食品衛生学		2
	公衆衛生学		1
必要修得単位数		51	40
合計必要修得単位数		91	

(4)－3 食料生産環境学科 水産システム学コース

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	物理学		2
	化学入門		2
	化学		2
	生物学入門		2
	生物学		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
			6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
学科共通科目	食料生産環境学概論	2	
	応用数学		2
	応用力学		2
	情報処理演習	1	
専門重点科目	6次産業化論	2	
	水産科学入門	2	
	水産増殖学	2	
	水産動物学	2	
	水産植物学	2	
	水族ゲノム生物学		2
	水族生理学	2	
	漁業資源生態学	2	
	水圏環境学		2
	数理漁業資源学	2	
	水産食品加工学	2	
	水産食品化学		2
	水産微生物学		2
	ミクロ経済学入門	2	
	経営管理学入門	2	
	地域振興経済・政策論	2	
	自然環境論		2
	環境経済学・資源経済学入門	2	
	水産物流・マーケティング論	2	
	水産制度学	2	
	水産政策学	2	
	コミュニケーション論	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	水産生物学実験	1	
	分析化学実験	1	
	海洋実習Ⅰ	1	
	海洋実習Ⅱ	1	
	漁村調査実習	1	
	漁具漁法概論		2
	漁業資源管理学		2
	水産生命科学特別講義		2
	水産システム学演習Ⅰ	1	
	水産システム学演習Ⅱ	1	
専門展開科目	基礎遺伝学		2
	熱工学		2
	農産食品プロセス工学		2
	生鮮食品保存科学		2
	地域デザイン論		2
	地域生態系保全論		2
	遺伝子工学		2
	基礎分析化学		2
	細胞生物学		2
	食品衛生学		2
	食品化学・食品学		2
	食品機能学		2
	食品加工物理化学		2
	公衆衛生学		1
	生化学Ⅰ		2
	食品化学工学		2
	食品保蔵学		2
	NPO・環境ガバナンス論		2
	動物組織学		1
	動物発生学		1
	ロボティクス工学		2
	制御工学		2
必要修得単位数		52	39
合計必要修得単位数		91	

(5) 動物科学科

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門基礎科目	基礎数学入門		2
	線形代数学入門		2
	微分積分学入門		2
	物理学入門		2
	化学入門		2
	生物学入門		2
	地学入門		2
	生物統計学		2
	基礎数学演習		1
	基礎物理学実験		1
	基礎化学実験		1
	基礎生物学実験		1
	物理学		2
	化学		2
	生物学		2
			6
学部共通科目	総合フィールド科学	2	
	総合フィールド科学実習	1	
	地域おこし論		2
	インターンシップ		1
	科学英語		2
	科学文献読解法		2
	海外特別実習		1
	卒業研究	6	
専門重点科目	動物科学総論	2	
	実験動物学概論	1	
	動物生理学Ⅰ	2	
	動物生理学Ⅱ	2	
	動物形態学Ⅰ	2	
	動物形態学Ⅱ	2	
	動物組織学	1	
	動物遺伝育種学	2	
	動物発生学	1	
	動物生殖学	2	
	動物生殖学各論	1	
	家畜生殖技術論	1	
	動物栄養学	2	
	飼料機能学	2	
	家畜飼養学	2	
	愛玩動物栄養学		1
	草地学	2	
	動物管理学	2	
	動物行動学	2	
	動物園学		1
	野生動物学		1
	動物資源利用学Ⅰ	2	
	動物資源利用学Ⅱ		1
	農学のための倫理		1
	動物科学実験Ⅰ	3	
	動物科学実験Ⅱ	3	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門重点科目	牧場実習	1	
専門展開科目	農業経営学		2
	食品化学工学		2
	応用昆虫学Ⅰ		2
	食品化学・食品学		2
	生化学Ⅰ		2
	生化学Ⅱ		2
	野生動物管理学		2
	分子生物学Ⅰ		2
	遺伝子工学		2
	細胞生物学		2
	食品保蔵学		2
	地域生態系保全論		2
	基礎遺伝学		2
	微生物学概論		2
	植物栄養学・肥科学		2
	有機化学概論		2
	植物生理学		2
	天然物化学		2
	美味学		2
	公衆衛生学		1
必要修得単位数		49	42
合計必要修得単位数		91	

(6) 共同獣医学科

区分 1	区分 2	授業科目	単位数	
			必修	選択
基礎獣医学科目	基礎獣医学科目群	獣医学概論	2	
		獣医倫理	2	
		獣医事法規	1	
		運動器・神経系解剖学	2	
		内臓・脈管系解剖学	2	
		解剖学実習	3	
		組織学	2	
		組織学実習	1	
		発生学	1	
		統合生理学	2	
		器官制御生理学	2	
		内分泌学	2	
		生理学実習	1	
		獣医遺伝育種学	1	
		動物行動学	2	
		実験動物学	2	
		実験動物学実習	1	
		基礎放射線学	2	
		獣医基礎生化学	2	
		獣医代謝生化学	2	
		生化学実習	1	
		基礎薬理学	2	
		統合薬理学	2	
		薬理学実習	1	
		小計	41	
	病態獣医学科目群	微生物学総論	2	
		病原微生物学	2	
		微生物学実習Ⅰ	1	
		微生物学実習Ⅱ	1	
		免疫学	2	
		原虫・原虫病学	2	
		蠕虫・蠕虫病・衛生動物学	2	
		寄生虫学実習	1	
		動物感染症学	3	
		家禽疾病学	2	
		魚病学	2	
		動物病理学総論	2	
		動物病理学各論A（主要臓器）	2	
		動物病理学各論B（他臓器・組織）	2	
		病理学実習Ⅰ	1	
		病理学実習Ⅱ	1	
		小計	28	
	応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	1	
		疫学	2	
		人獣共通感染症学	2	
		環境衛生学	2	
		公衆衛生学実習	1	
		毒性学	2	
		毒性学実習	1	
		動物衛生学	2	
		動物衛生学実習	1	
		野生動物学	1	
		食品衛生学（獣医）	2	
		食品衛生学実習	1	
		公衆衛生実践実習	1	
		小計	19	

区分 1	区分 2	授業科目	単位数	
			必修	選択
実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	内科学総論	1	
		呼吸器病・循環器病学	2	
		消化器病学	2	
		外科学総論	1	
		麻酔学・手術学	1	
		軟部外科学	1	
		小動物内科学実習・基礎編	1	
		小動物内科学実習・応用編	1	
		小動物外科学実習・基礎編	1	
		小動物外科学実習・応用編	1	
		内分泌病・皮膚病学	2	
		代謝病・中毒学	1	
		血液免疫病学	1	
		神経病・運動器病学	2	
		泌尿器病・生殖器病学	2	
		臨床病理学	2	
		臨床薬理学	1	
		臨床腫瘍学	2	
		臨床栄養学	1	
		画像診断学	2	
		画像診断実習	1	
		眼科学	1	
		動物行動治療学	1	
		総合参加型臨床実習Ⅰ	1	
		総合参加型臨床実習Ⅱ	1	
		総合参加型臨床実習Ⅲ	1	
		総合参加型臨床実習Ⅳ	1	
		小計		35
	大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	2	
		臨床繁殖学	2	
		繁殖機能制御学実習	1	
		臨床繁殖学実習	1	
		産業動物臨床学Ⅰ	2	
		産業動物臨床学Ⅱ	2	
		馬臨床学	1	
		大動物臨床実習・基礎編	1	
		大動物臨床実習・応用編	1	
総合参加型臨床実習Ⅴ		1		
総合参加型臨床実習Ⅵ		1		
小計		15		
選択科目	インターンシップ（獣医）		1	
	海外実習		1	
	人と動物関係学		2	
	動物品種論		2	
	食品安全管理学		2	
	動物園動物学		2	
	国際感染症制御学		2	
	動物病院経営学		2	
	小計			6
専修科目	獣医学演習	4		
	卒業研究	10		
	小計		14	
計			152	6
合 計			158	

3. 学部学生

(1) 入学年度別在籍者数

令和5年4月1日現在

入学年度 学科・課程	定 員			令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度		
	入学	編入	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	40	1	162	26	18	44	27	16	43	22	18	40	24	15	39	1	-	1
応用生物化学科	40	1	162	13	28	41	14	25	39	22	18	40	18	23	41	1	2	3
森林科学科	30	-	120	14	17	31	20	15	35	16	13	29	16	17	33	-	-	-
食料生産環境学科	60	2	244	41	20	61	39	26	65	34	25	59	37	26	63	6	-	6
動物科学科	30	1	122	10	21	31	8	24	32	7	20	27	10	22	32	2	1	3
共同獣医学科	30	-	180	12	21	33	15	18	33	18	15	33	17	15	32	12	22	34
計	230	5	990	116	125	241	123	124	247	119	109	228	122	118	240	22	25	47

入学年度 学科・課程	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
植物生命科学科	2	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	68	171
応用生物化学科	3	-	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	71	97	168
森林科学科	1	-	1	2	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	70	62	132
食料生産環境学科	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	157	98	255
動物科学科	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	89	126
共同獣医学科	16	16	32	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	91	108	199
計	22	19	41	4	-	4	1	2	3	-	-	-	-	-	-	529	522	1051

(2) 研究生・科目等履修生・特別聴講学生受入状況

令和5年4月1日現在

区 分	研 究 生	科目等履修生	特別聴講学生	合 計
学 部	2	0	5	7
大 学 院	0	0	0	0
計	2	0	5	7

(3) 卒業者数

学科・課程	令和5年度	備考
植物生命科学科	31	
応用生物化学科	43	
森林科学科	29	
食料生産環境学科	59	
動物科学科	29	
共同獣医学科	28	
計	219	

(4) 卒業者の進路状況（令和5年度）

[illegible]

4. 大学院修士課程

(1) 在籍者数

総合科学研究科

令和5年10月1日現在

専攻・コース	定員		令和5年度			令和4年度			令和3年度			令和2年度			合計		
	入学	収容	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
地域創生専攻 地域産業コース (※農学部に所属する教員が指導する学生)			6	10	16	17	5	22	-	-	-	-	-	-	23	15	38
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース (※農学部に所属する教員が指導する学生)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農学専攻 植物生命科学コース	50	100	5	3	8	9	5	14	-	-	-	-	-	-	14	8	22
農学専攻 応用生物化学コース			10	13	23	15	10	25	2	1	3	-	-	-	27	24	51
農学専攻 動物科学コース			4	3	7	4	2	6	-	-	-	-	-	-	8	5	13
計			25	29	54	45	22	67	2	1	3	-	-	-	72	52	124

(2) 修了者数

総合科学研究科

専攻・コース	令和5年度	備考
地域創生専攻 地域産業コース (※農学部に所属する教員が指導する学生)	17	
地域創生専攻 地域・コミュニティデザインコース (※農学部に所属する教員が指導する学生)	0	
農学専攻 植物生命科学コース	12	
農学専攻 応用生物化学コース	27	
農学専攻 動物科学コース	5	
計	61	

(3) 修了者の進路状況 (令和5年度)

総合科学研究科			卒業後の状況				就職者の産業別内訳																							就職先																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			進学等		就職		製造業										その他										県内	県外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			大学院進学	研究生・聴講生等	その他（各種学校等）	就職希望者	就職者	その他	農業・林業	漁業	鉱業・採石業	建設業	食料品・飲料・たばこ	繊維・衣服	印刷・同関連業	化学・石油	鉄鋼・非鉄・金属製品	はん用・生産用機械	電子部品・デバイス	電気・情報通信機器	輸送用機械製造業	その他の製造業	電気・ガス・水道等	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業			小売業	金融業	保険業	不動産取引・賃貸業	学術・開発・専門技術	法務	その他の技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	その他のサービス業	学校教育	その他の教育支援業	医療・福祉	国家公務	地方公務																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
修了者数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
農学専攻			植物生命科学コース	男	8	1	0	0	7	7	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0</

(4) 修士論文一覧

令和5年9月修了

専攻・コース等	氏 名	修 士 論 文 題 目
農学専攻 応用生物化学コース	REN WUJIAN	卵黄の凍結・解凍処理によるゲル化に対する糖質の抑制機構

令和6年3月修了

専攻・コース等	氏 名	修 士 論 文 題 目
地域創生専攻 地域産業コース 高度農林業プログラム (※農学部に所属する教員が指導する学生)	浅井 康晴	幼児教育としての自然体験活動の意義 ー森のようちえん卒園生のライフストーリーを手掛かりにー
	浅瀬石 育吹	早池峰山のアカエゾマツ自生南限地における林分構造と行列モデルによる林分動態解析
	厚味 英	大規模流通と小規模流通が並立する地域材流通のあり方に関する研究ー岩手県森林組合連合会を事例にー
	太田 匠	精油の抗アルツハイマー病作用ー抗酸化型市販精油のA β 毒性緩和作用ー
	加藤 その子	岩手県における林業用苗木生産の現状と課題
	佐藤 一真	スギ樹皮テルペノイド成分の分離と抗糖化活性
	佐藤 匠	盛岡市大ヶ生地域における獣害被害の現状とモニタリング技術の検証
	杉澤 龍之介	過冷却保存がカット青果物の腐敗抑制および品質保持に与える影響
	平山 舜	バイオ炭を添加した乳牛糞の堆肥化による悪臭成分の変化
	穂刈 裕一	ニホンノウサギの生息密度に影響を及ぼす要因の探索
地域創生専攻 地域産業コース 水産業革新プログラム (※農学部に所属する教員が指導する学生)	川淵 拓斗	海面トラウトサーモン養殖種苗の海水適応能向上に関する研究
	木皿 祐雅	資源評価の拡大に向けたベジタン余剰生産モデルの可能性と課題
	佐藤 晏廷	マボヤ流通拡大のための鮮度維持法の改良及び新たな鮮度指標の開発
	鈴木 智也	海藻の成分分析と岩手県産ワカメ評価システム構築の試み
	照屋 舞	環境DNAメタバーコーディング解析による大槌湾の魚類相に関する研究
	中畑 巧真	神経処理が養殖魚類の死後変化に及ぼす影響
	若尾 鷹幸	岩手県沿岸域に分布するムラソイとオウゴンムラソイの成熟特性と遺伝的類縁関係
農学専攻 植物生命科学コース	足立 拓海	ブロッコリー花蕾におけるアントシアニン蓄積性の遺伝育種学研究
	小野寺 慶	イネの種子形成過程における <i>OsMET1b</i> の機能解析とその雄性アレル効果の検証
	小原 晶	凍害被害の異なる品種間比較によるブルーベリー越冬メカニズムの解明
	笠松 勇登	農業利用を目的としたニラの低温馴化の基礎研究
	黒坂 絵美	イネの種間交雑で見られる生殖的隔離メカニズムに関する研究とその打破による育種の応用
	佐々木 茉央	<i>Rhizobium</i> sp. Chiba-1 株が保有するHrcAの機能解析
	佐藤 玲央	イネ穂ばらみ期耐冷性の多窒素施用による変動要因の生理生態的解析

専攻・コース等	氏 名	修 士 論 文 題 目
農学専攻 植物生命科学コース	島田 和希	ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座 <i>CRK</i> の責任遺伝子の同定に関する研究
	八桁 直輝	マメ科植物の莢形質の分子遺伝学的解析
	蓮沼 大地	<i>McDOX-Co</i> プロモーターの制御領域の推定および <i>McDOX-Co</i> ノックダウンリングの解析
	早坂 和希	寒冷地のイネ初冬直播き栽培における窒素施肥法
	松岡 彩	秋播きコムギ栽培における石灰窒素の施用効果
農学専攻 応用生物化学コース	池田 はるな	遺伝子変異酵母株の組み合わせによる久慈産琥珀からの新規生物活性物質の単離精製と構造決定
	浅沼 秀岳	森林の堆積腐植層の物理的攪乱が微生物バイオマスの代謝回転と Cs の動態に及ぼす影響
	石川 貴啓	がん精巣抗原 KK-LC-1 の機能に関する研究
	石田 拓真	廃棄物を原料としたバイオプラスチックの微生物合成に関する研究
	市沢 翔太	ネコ腎臓の尿細管に蓄積している脂肪滴の生合成機構に関する研究
	伊藤 佳菜	7 種のシダ植物における Rubisco の酵素的特性の評価
	伊藤 輝俊	イネ <i>Oryza</i> ;KRP3 ゲノム編集植物体における種子形成過程の解析
	太田 陽介	エチレングリコールを原料としたグリコール酸ポリマーの微生物合成
	小笠原 史弓	シスタミンによる細胞死抑制の分子機構
	加藤 渉磨	肝臓細胞におけるトリテルペノイド化合物の生理調節活性の解析
	菊池 優花	ウクライナ産琥珀とスマトラ産琥珀に含まれる生物活性物質の単離精製と構造同定
	小山 慧祐	イネ DUF295 関連遺伝子の解析
	齋藤 早樹子	がん精巣抗原 KK-LC-1 の分子構造に関する研究
	齋藤 祐介	海洋細菌 <i>Pseudoalteromonas</i> sp. Y-5 由来の新規ナイロン 4 分解酵素
	桜田 隆矢	シスタミン投与による腎臓障害および神経障害の改善効果の検証
	笹本 啓将	久慈産ジェットとスペイン産琥珀に含まれる生物活性物質の単離精製・構造決定による久慈産琥珀の続成作用の考察
	田端 菜々海	久慈産琥珀の生物活性物質とマダガスカル産コーパル、珪化木並びにアリゾナ産珪化木の生物活性物質の比較分析
	丹場 晴也	酵母ユビキチンリガーゼ Rsp5 変異株を生育回復させる久慈産琥珀由来の生物活性物質の単離精製および構造決定
	CHEN SHUTING	大腸菌由来 lactaldehyde reductase 活性向上変異体の創出に関する研究
	長谷川 芽女	<i>Selenomonas ruminantium</i> 由来プラスマローゲン合成酵素に関する研究
	HAN YOUJUNG	タンパク質膜挿入に関わる糖脂質酵素 MPase の構造と機能に関する研究
	日景 瑠那	リン脂質および糖脂質 MPase の生合成に関わる CdsA、YnbB の発現制御に関する研究
	古谷 萩	大腸菌内膜、外膜由来の生体膜保護物質の同定と構造・機能解析
	古山 達貴	がん細胞に中心体クラスターリング阻害活性を示す kolavenic acid analog の標的分子と構造活性相関
	松本 実香	低糖質食品用のシヨ糖代替素材の開発に向けた <i>meso</i> -エリスリトールの結晶化制御機構の解明
	山木 大輔	尾部懸垂による骨格筋萎縮に対するフェネチルイソチオシアネートの有効性解析

専攻・コース等	氏 名	修 士 論 文 題 目
農学専攻 動物科学コース	鎌田 朋弥	御明神演習林におけるイノシシの活動に環境要因が与える影響
	長谷川 七瀬	紫外線暴露による皮膚構成脂質の動態に関する研究
	向井 天優	体外発生培地への DKK1 および CSF2 添加がウシ体外受精胚の着床前発生と遺伝子発現におよぼす影響
	森 龍之介	ニワトリへのプロリン過剰給与がピラリン生成経路に及ぼす影響
	山本 博冬	機械学習を用いた養鶏業における作業効率化に関する研究

5. 大学院博士課程

(1) 岩手大学大学院獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 1名】

令和5年9月25日

入学年度	専攻	講座	氏名	学位論文題目	指導教員
30	共同獣医学	獣医衛生科学	米山 州二	Bovine leukemia virus 定量 PCR法の評価およびプロウイルス量を指標とした高度感染酪農場における清浄化対策に関する研究 Studies on evaluation of commercial quantitative PCR assays for bovine leukemia virus, and cleanup measures in dairy farms with high bovine leukemia virus infection using provirus levels as an indicator	村上 賢二

【論文提出による学位取得者 1名】

令和6年3月22日

氏名	博士学位論文名	推薦教員
村藤 義訓	日本国内の乳用種繁殖雌牛及び肉用種繁殖雌牛の農場間移動に関する研究 (Region-wise analysis of dairy and beef cow movements in Japan)	山本 健久

(2) 岩手大学大学院連合農学研究科

【課程修了による学位取得者 7名】

令和5年9月25日

入学年度	専攻	連合講座	氏名	配属大学	学位論文題目	指導教員
R2	生物生産科学	植物生産学	阿部 茉莉	岩手大学	Analysis of yield constraints of dry direct seeded rice and proposal for future stable production in northeastern Japan (東北地方における乾田直播水稻の収量制限要因の解析と今後の安定生産に向けた提案)	松波麻耶
R2	生物資源科学	生物分子機能学	石田 幸太郎	弘前大学	ヒトパルボウイルス B19 ウイルス様粒子の動態の解析 (Analysis of dynamics of human parvovirus B19 virus-like particles)	森田英嗣
R2	生物資源科学	食品科学	牛 雅斌	岩手大学	Study on quality maintenance of raw-edible yesso scallop (<i>Mizuhopecten yessoensis</i>) adductor muscle and the hardening mechanism during refrigeration (生食用ホタテガイ貝柱の品質維持および冷蔵中硬化メカニズムに関する研究)	袁春紅
R2	生物資源科学	食品科学	董 師良	岩手大学	Effect of shell shape, post-harvest rearing, and super-chilling storage on the changes in biochemical properties of Pacific oysters (<i>Crassostrea gigas</i>) (太平洋牡蠣 (<i>Crassostrea gigas</i>) の生化学的性質の変化に対する貝殻の形状、水揚げ後の蓄養、およびスーパーチリング保存の影響)	袁春紅

30	地域環境創生学	地域資源・環境経済学	TATAUROVA, Nadezhda	岩手大学	ロシア連邦における国立公園の制度と管理に関する研究 (Study on the system and management of National parks in the Russian Federation)	山本信次
R2	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	姜 卓秋	岩手大学	Fuel and material utilization of a waste shiitake (Lentinula edodes) mushroom bed derived from hardwood chips (広葉樹チップを原料とするシイタケ廃菌床の燃料・材料利用の可能性)	関野登
29	生物資源科学	生物資源利用学	USUKHBAYAR, Narandulam	岩手大学	3,6-Epidioxy-1,10-bisaboladiene のフェロトース様細胞死誘導による抗がん作用メカニズムの解析 (Anti-cancer effect of 3,6-epidioxy-1,10-bisaboladiene through inducing ferroptosis-like cell death)	木村賢一

【論文提出による学位取得者 1名】

令和5年9月25日

氏 名	博 士 学 位 論 文 名	推薦教員名 (所属大学)
Wanida Tewaruth CHITISANKUL	Effect of food processing on soyfood qualities relating nutraceutical and taste characteristics (大豆加工食品の健康機能性と味質に関する品質に及ぼす食品加工の影響)	伊藤芳明 (岩手大学)

【課程修了による学位取得者 13名】

令和6年3月22日

入学 年度	専攻	連合講座	氏 名	配属大学	学位論文題目	指導教員
31	生物生産科学	植物生産学	李 芙蓉	岩手大学	Study on release of chimeras and efficient selection of editing mutants by CRISPR/ Cas9-mediated gene editing in apple (リンゴにおけるCRISPR/Cas9を用いたゲノム編集個体の効率的な選抜方法とキメラ解除に関する研究)	小森貞男
R3	生物生産科学	植物生産学	及川 誠司	岩手大学	水稻の初冬直播き栽培における品種と採種地が出芽率に及ぼす要因の解明 (Effect of the cultivar of rice and the environment in which the seeds were harvested on seeding establishment after overwintering in Early-winter Direct-sowing Cultivation)	下野裕之
R3	生物生産科学	植物生産学	NABILA MUMTAHINA	岩手大学	Impact of deep-placed fertilization on root system architecture and productivity in rice (深層施肥がイネの根系構造と生産性に及ぼす影響)	松波麻耶
R3	生物生産科学	生物生態制御学	TANTRIANI	山形大学	Mechanism of low phosphorus tolerance of soybean cultivars (ダイズ品種の低リン耐性のメカニズム)	俵谷圭太郎

R3	生物生産科学	生物生態制御学	CHEN JUN	弘前大学	Aspergillus oryzae 固体発酵におけるチロシナーゼ遺伝子 melB の発現制御機構の解明に関する研究 (Studies on the regulatory mechanism of the expression of the tyrosinase gene melB of Aspergillus oryzae in solid-state fermentation)	殿内暁夫
R2	生物資源科学	生物分子機能学	亀本 有生	岩手大学	タンパク質膜挿入および膜透過を触媒する糖脂質酵素 MPIase の生合成機構に関する研究 (Study on the biosynthetic mechanisms of the Glycolipozyme MPIase that catalyzes membrane protein integration and translocation)	西山賢一
R2	生物資源科学	生物分子機能学	永谷 悠	弘前大学	分子状酸素依存性または非依存性の二種の新規ユビキノシン生合成脱炭酸水酸化酵素の同定および機能解析 (Identification and functional analysis of two novel decarboxylative hydroxylases involved in O ₂ -dependent or O ₂ -independent ubiquinone biosynthesis)	坂元君年
R3	生物資源科学	生物分子機能学	荻間澤 真弓	岩手大学	カイコおよび野蚕シルクセリシンの調製法の確立と機能解析 (Establishment of preparation methods and functional analysis for sericin from cocoons of mulberry and non-mulberry silkworms)	山下哲郎
R3	生物資源科学	生物分子機能学	前田 昂樹	弘前大学	細胞外微粒子の異質性と形成の分子機構 (Analysis of molecular mechanisms of extracellular vesicle formation and development of technologies for profiling extracellular vesicle heterogeneity)	森田英嗣
R3	生物資源科学	食品科学	ZHU WENRUI	岩手大学	流動性ヨーグルトの理化学特性に及ぼす油脂の影響 (Impacts of fats and oils on the physicochemical properties of stirred yogurt)	三浦靖
R1	地域環境創生学	地域環境工学	Tana Somchart	弘前大学	Application of Microbes in degradation of organophosphate and organochlorine pesticides under greenhouse condition (温室条件下における有機リン系および有機塩素系農薬の微生物利用による分解)	森谷慈由

R3	地域環境創生学	地域環境工学	SAO SOCHAN	山形大学	Impact of flooding on soil-water physicochemical properties and microbial communities in floodplain soil (氾濫原土壌における土壌-水の物理化学的性質および微生物群集に対する洪水の影響)	渡部徹
R3	地域環境創生学	地域資源・環境管理学	大野 美涼	弘前大学	Interspecific variation in light-sensing type for bud burst in deciduous trees (落葉樹における冬季の日長受容様式の多様性)	石田清

【論文提出による学位取得者 1名】

令和6年3月22日

氏 名	博 士 学 位 論 文 名	推薦教員名 (所属大学)
神谷 哲	Study on numerical evaluation of food bolus behavior during swallowing using swallowing simulator based on the moving particle simulation method (粒子法による嚥下シミュレータを用いた嚥下中の食塊挙動の数値評価に関する研究)	三浦靖 (岩手大学)

(3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科

【課程修了による学位取得者 なし】

【論文提出による学位取得者 なし】

IV 国際交流

1. 海外渡航

(1) 出張

N0	所属	職名	氏名	出張開始	～	出張終了	目的国	用務内容
1	動物科学科	教授	築城 幹典	令和5年5月13日	～	令和5年5月20日	アメリカ	第25回国際草地学会議出席
2	食料生産環境学科	准教授	石村 学志	令和5年5月23日	～	令和5年5月28日	アメリカ	北米漁業経済学会での発表
3	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和5年5月26日	～	令和5年6月6日	バングラデシュ	共同プロジェクトのため
4	動物病院	特任助教	KIM SU EUN	令和5年6月12日	～	令和5年6月15日	韓国	韓国牛学会参加及び動物病院見学
5	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和5年6月29日	～	令和5年7月11日	フランス イタリア	フランスとイタリアの農業視察
6	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和5年7月3日	～	令和5年7月9日	韓国	国際植物生長物質会議 参加
7	大学院連合農学研究科	学生	伊藤 圭汰	令和5年7月3日	～	令和5年7月9日	韓国	国際植物生長物質会議 参加
8	動物科学科	教授	澤井 健	令和5年7月9日	～	令和5年7月17日	カナダ	Society for the Study of Reproduction 第56回年次大会に参加、発表のため
9	農学専攻	学生	向井 天優	令和5年7月9日	～	令和5年7月17日	カナダ	Society for the Study of Reproduction 第56回年次大会に参加、発表のため
10	応用生物化学科	教授	三浦 靖	令和5年7月30日	～	令和5年8月5日	ギリシャ	International Congress on Rheologyに出席
11	大学院連合農学研究科	学生	朱 文睿	令和5年7月30日	～	令和5年8月5日	ギリシャ	International Congress on Rheologyに出席
12	大学院連合農学研究科	学生	王 卓琳	令和5年8月6日	～	令和5年8月24日	中国	上海海洋大学の研修
13	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和5年8月8日	～	令和5年8月16日	中国	研究室訪問と交流
14	共同獣医学科	准教授	宮崎 珠子	令和5年8月18日	～	令和5年8月24日	アメリカ	動物介在学研究の海外研修および セミナー実施
15	共同獣医学科	助教	前原 都有子	令和5年8月20日	～	令和6年3月31日	アメリカ	岩手大学女性研究者グローバル キャリア支援海外派遣
16	植物生命科学科	准教授	川原田 泰之	令和5年8月29日	～	令和5年9月6日	イタリア	15th European Nitrogen Fixation Conferenceに参加するため
17	植物生命科学科	教授	下野 裕之	令和5年9月3日	～	令和5年9月14日	ポルトガル モロッコ	ポルトガルの農業視察とモロッコの 農業視察
18	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和5年9月5日	～	令和5年10月6日	アイルランド	岩手大学女性研究者グローバル キャリア支援海外派遣
19	地域創生専攻	学生	金澤 海斗	令和5年9月11日	～	令和5年9月26日	インドネシア	国際インターンシップ研修
20	地域創生専攻	学生	三橋 瑳絵	令和5年9月11日	～	令和5年9月26日	インドネシア	国際インターンシップ研修
21	地域創生専攻	学生	下山 奈津美	令和5年9月11日	～	令和5年9月26日	インドネシア	グローバルコミュニケーションとイン ターンシップ
22	地域創生専攻	学生	穂刈 裕一	令和5年9月14日	～	令和5年9月29日	ドイツ	グローバルコミュニケーション受講
23	地域創生専攻	学生	厚味 英	令和5年9月14日	～	令和5年9月29日	ドイツ	グローバルコミュニケーション受講
24	地域創生専攻	学生	浅瀬石 育吹	令和5年9月14日	～	令和5年9月29日	ドイツ	グローバルコミュニケーション受講
25	地域創生専攻	学生	会田 裕雅	令和5年9月14日	～	令和5年9月27日	ドイツ	グローバルコミュニケーション受講
26	地域創生専攻	学生	齋藤 楓華	令和5年9月14日	～	令和5年9月27日	ドイツ	グローバルコミュニケーション受講
27	地域創生専攻	学生	森田 菜々子	令和5年9月14日	～	令和5年9月29日	ドイツ	グローバルコミュニケーション受講

N0	所属	職名	氏名	出張開始	～	出張終了	目的国	用務内容
28	森林科学科	教授	真坂 一彦	令和5年9月15日	～	令和5年9月28日	ドイツ	ロッテンブルグ大学訪問(サマースクール)、フライブルグ市内森林・環境関連施設見学など
29	寒冷フィロト	助教	白旗 学	令和5年9月15日	～	令和5年9月27日	ドイツ	ドイツ共和国ロッテンブルグ大学研修
30	森林科学科	准教授	齋藤 仁志	令和5年9月15日	～	令和5年10月1日	ドイツ オーストリア	ロッテンブルグ林業大学研修 およ びAstrofoma2023視察
31	大学院連合農学研究科	学生	渡部 優	令和5年9月18日	～	令和5年9月30日	ドイツ オーストリア	FORMEC2023 参加及び Astrofoma2023視察のため
32	大学院連合農学研究科	学生	Afrin Faria	令和5年10月2日	～	令和5年11月27日	バングラデシュ	共同研究の実施
33	植物生命科学科	准教授	川原田 泰之	令和5年10月12日	～	令和5年10月17日	台湾	Taiwan-Japan Plant Biologyに参加
34	動物科学科	教授	西向 めぐみ	令和5年10月12日	～	令和5年10月20日	デンマーク	UEG Week 2023での発表および情報収集
35	森林科学科	講師	東 淳樹	令和5年10月12日	～	令和5年10月17日	台湾	国際サシバサミット2023in台湾への参加
36	共同獣医学科	准教授	関 まどか	令和5年10月24日	～	令和5年10月27日	韓国	the 4th International Symposium on Parasite Resources (ISPR)
37	応用生物化学科	教授	木村 賢一	令和5年10月30日	～	令和5年11月6日	カナダ	サスカチュワン大学での放射光シンポジウム への参加及び研究インターンシップ協定の打 合せ
38	連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和5年10月30日	～	令和5年11月6日	カナダ	サスカチュワン大学での放射光シンポジウム への参加及び研究インターンシップ協定の打 合せ
39	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和5年10月31日	～	令和5年11月11日	カナダ	サスカチュワン大学での放射光シンポジウム への参加及び研究インターンシップ協定の打 合せ
40	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和5年11月2日	～	令和5年11月5日	中国	交流講演
41	地域創生専攻	学生	星野 彩優花	令和5年11月4日	～	令和5年11月10日	スペイン	The 37th EEFoST国際会議出席 (地創:グローバル)
42	地域創生専攻	学生	都地 菜摘	令和5年11月4日	～	令和5年11月10日	スペイン	The 37th EEFoST国際会議出席 (地創:グローバル)
43	応用生物化学科	准教授	WIRIYASERMKUL PATTAMA	令和5年11月18日	～	令和5年12月3日	タイ	30th FAOBMB 国際学会発表と大 学でセミナー
44	食料生産環境学科	教授	袁 春紅	令和5年12月29日	～	令和6年1月3日	中国	上海海洋大学との交流事業
45	地域創生専攻	学生	下山 奈津美	令和6年1月1日	～	令和6年1月4日	中国	上海海洋大学を訪問し中国の水産 物市場調査とワカメの研究
46	植物生命科学科	准教授	川原田 泰之	令和6年1月5日	～	令和6年1月11日	タイ	6th APMNFIに参加するため
47	大学院連合農学研究科	学生	千葉 悠平	令和6年1月5日	～	令和6年1月11日	タイ	6th APMNFIに参加するため
48	大学院連合農学研究科	学生	Lin YUMENG	令和6年2月8日	～	令和6年4月1日	中国	海外インターンシップ
49	植物生命科学科	教授	ラーマン アビドゥール	令和6年2月22日	～	令和6年3月8日	バングラデシュ	共同プロジェクト
50	共同獣医学科	教授	佐藤 雪太	令和6年2月27日	～	令和6年3月4日	リトアニア	研究成果に関する意見交換及び共 同研究に係る打合せ
51	森林科学科	講師	東 淳樹	令和6年3月21日	～	令和6年3月27日	フィリピン	第4回国際サシバサミットinフィリ ピンへの参加
52	動物科学科	准教授	牧野 良輔	令和6年3月22日	～	令和7年2月1日	イギリス	令和5年度岩手大学教員長期海外 渡航のため
53	連合農学研究科	教授	原科 幸爾	令和6年3月25日	～	令和6年3月30日	インドネシア	都市化に温熱環境の現地実測、住民行 動の記録、ソーシャルキャピタルに関する 調査

(2) 研修

令和5年度は、研修の実績なし。

2. 外国人研究者の受入

氏 名	現 職	研究（研修）期間	受入区分	受入学科等・教員名	
Lina Chen	長春大学 食品科学与工程学部 食品科学与工程学科 副教授	R5.10. 1～R6.9.30	客員研究員	応用生物化学 科	山田 美和
Tataurova Nadezhda	岩手大学	R5.10. 1～R6.9.30	客員研究員	森林科学科	伊藤 幸男
USUKHBAYAR NARANDULAM	岩手大学	R5.10. 1～R6.9.30	客員研究員	応用生物化学 科	木村 賢一
WU Shuang	福建農林大学 教授	R5.12. 1～R6.11.30	客員研究員	植物生命科学 科	ラーマン アビド ウール
金 檀一	ソウル大学獣医科大学 副教授	R6.3. 1～R7.2.28	客員研究員	産業動物臨床・ 疾病制御教育研 究センター	一條 俊浩

3. 留学生の受入

令和5年11月1日現在

		中国	韓国	スリランカ	ベトナム	計
学 部	植物生命科学科	3	1			4
	応用生物化学科	1				1
	森林科学科					
	食料生産環境学科					
	動物科学科	2				2
	共同獣医学科					
計		6	1			7
大学院	総合科学研究科 農学専攻	1	1		1	3
	総合科学研究科 地域創生専攻(※)					
計		1	1		1	3
研究生等	研究生	学 部		1		1
		大学院				
	特別聴講学生	学 部	1			1
		大学院				
計		1		1		2
合計		8	2	1	1	12

※は、農学部に所属する教員が受け入れた留学生の人数を記載。

4. 交換留学生の派遣と受入

(1) オーバン大学

区分	内訳		
派遣	2023. 8	1名（共同獣医学科	5年次1名）

(2) サスカチュワン大学

区分	内訳		
受入	2023. 8	サマープログラム	14名

(3) ロッテンブルグ大学

区分	内訳		
派遣	2023. 9	6名（総合科学研究科 地域創生専攻	1年次3名，2年次3名）

(4) 上海海洋大学

区分	内訳		
派遣	2023. 9～2024. 2	1名（食料生産環境学科	4年次1名）
	2023. 12～2024. 1	1名（総合科学研究科 地域創生専攻	1年次1名）
受入	2022. 10～2023. 8	農学部 特別聴講学生	1名
	2023. 4～2023. 8	農学部 特別聴講学生	2名
	2023. 4～2024. 2	農学部 特別聴講学生	3名
	2023. 8	サマープログラム	6名

V 地域交流

1. セミナー・公開講座等の開催

(1) 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの （植物生命科学科）

第25回 りんどう研究会

- ・開催日：令和5年8月25日（金）
- ・場所：岩手大学農学部（総合教育研究棟（生命系）ぽらんホール）
- ・テーマ①：「軽労化と増収を両立するりんどうの新しい栽培方法」
- ・講師：小田島雅（岩手県農業研究センター園芸技術研究部）
- ・テーマ②：「りんどうのバイオ育種研究について」
- ・講師：西原昌宏（公益財団法人岩手生物工学研究センター）
- ・参加人数：41名
- ・共催：岩手農林研究協議会（AFR）
- ・世話人：畠山勝徳（岩手大学教授）

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・開催日：令和5年4月17日（月）～5月2日（火）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加人数：1名
- ・内容：(株)金田動物病院の胚培養技術者に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

岩手ブルーベリーの会栽培講習会

- ・対象：岩手県内ブルーベリー生産者
- ・開催日：令和5年5月24日（土）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：50名
- ・内容：渡邊教員が滝沢農場でブルーベリー品種見本園を解説した。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・期日：令和5年7月24日（月）～7月29日（土）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内容：(株)金子家畜診療所の獣医師に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・期日：令和5年7月24日（月）～8月2日（水）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内容：(株)金田動物病院の胚培養技術者に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

いわてアグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」

- ・対象：岩手県内の農業者等

- ・開催日：令和5年9月28日（木）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：14名
- ・内容：由比教員と渡邊教員が、それぞれ野菜とブルーベリーに関して講義した。その後、イネ初冬直播き栽培、リンゴ‘はるか’などを見学した。

フォレストワーカー研修 森林作業道作設

- ・対象：森林技術者
- ・開催日：令和5年11月6日（月）～7日（火）
- ・場所：御明神演習林
- ・参加人数：18名
- ・内容：森林作業道作設の基本についての座学と実技実習を行った。

フォレストリーダー研修 森林路網計画

- ・対象：現場管理責任者
- ・開催日：令和5年11月21日（火）
- ・場所：御明神演習林
- ・参加人数：28名
- ・内容：森林路網計画のための現地踏査技術とICT技術を利用した現地踏査方法に関して実習を行った。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・期日：令和5年12月18日（月）～12月26日（火）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内容：（株）金田動物病院の胚培養技術者に対し、牛の体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

リカレントプログラム 牛の IVP 技術研修（産業応用編）

- ・対象：畜産技術者
- ・期日：令和6年2月26日（月）～3月8日（金）
- ・場所：御明神牧場
- ・参加数：1名
- ・内容：山形県農業共済組合の産業動物臨床獣医師に対し、牛の生体内卵子回収、体外胚生産技術に関する技術研修を実施した。

岩手ブルーベリーの会剪定講習会

- ・対象：東北地域のブルーベリー生産者
- ・開催日：令和6年3月16日（土）
- ・場所：滝沢農場
- ・参加人数：61名
- ・内容：岩手県立大学において、渡邊教員がブルーベリーの凍害について情報提供した。その後、滝沢農場のブルーベリー園において、岩手ブルーベリーの会役員が講師となり、参加者に対して剪定の実技を指導した。

(2) 一般市民・児童生徒を対象とするもの

(森林科学科)

第4回岩手県はちみつ品評会 はちみつフェア

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年12月3日（土）13：30～14：10
- ・場 所：いわて県民情報交流センター アイーナ4階
- ・講 師：真坂一彦
- ・参加人数：40名
- ・内 容：「森林とミツバチとの関係」と題して、森林の生態系サービスの一つとして蜜源機能を紹介した。

(附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター)

FSC 共催令和5年度盛岡市中央公民館講座 岩手大学滝沢演習林ツアー「大学の森で学ぼう～盛岡高等農林から続く森の歴史～（夏の部）」

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年6月23日（金）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：14名
- ・内 容：里山に関する講義とアカマツ林を中心に里山の自然観察を行った。

第172回フィールドセミナー（総合学習時間における森林学習（51）

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・開 催 日：令和5年7月4日（火）
- ・場 所：国立岩手山青年の家
- ・参加人数：70名（児童68名、教員5名）
- ・内 容：世界と日本の森林の現状と課題についての講義を行った。

第173回フィールドセミナー（総合学習時間における森林学習（52）

ー技術職員と学ぶ森林作業ー）

- ・対 象：盛岡市立下橋中学校1年生
- ・開 催 日：令和5年7月5日（水）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：70名
- ・内 容：森林管理作業の体験として下草刈り作業と自然観察のためのネイチャーゲームを実施し、森林とその管理についての学習を行った。

サイエンススクール

- ・対 象：中学生およびその保護者
- ・期 日：令和5年8月4日（金）
- ・場 所：上田キャンパス動物病院
- ・参加数：15名
- ・内 容：子牛4頭を貸し出し、サイエンススクールの実施に協力した。

FSC 共催令和5年度盛岡市中央公民館講座 岩手大学滝沢演習林ツアー「大学の森で学ぼう～盛岡高等農林から続く森の歴史～（秋の部）」

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年11月10日（金）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：12名
- ・内 容：アカマツ林の伐採の見学を中心に、森林と木材利用についての講義と見学を行った。

FSC・岩手日報共催 盛岡市林業等事業所・現場見学バスツアー

- ・対 象：一般市民および高校生
- ・開 催 日：令和5年11月18日（土）～19日（日）
- ・場 所：滝沢演習林
- ・参加人数：43名
- ・内 容：里山に関する講義をするとともに演習林内を歩き森林整備の方法について見学を行った。
なお、18日を一般市民向け、19日を高校生向けとして開催された。

(3) 公開講座等

ア 公開講座

（森林科学科）

「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」

- ・対 象：高校生
- ・開 催 日：令和5年10月22日（土）9:30～12:30
- ・場 所：滝沢演習林
- ・講 師：真坂一彦
- ・参加人数：4名
- ・内 容：滝沢演習林において、林道を歩きながら森林の更新方法と樹木の成長、花の咲かせ方、花粉交配の在り様、そして森林の構造の関係について説明した。

（食料生産環境学科）

食育講座シリーズ

- ・対 象：大学生・一般市民
- ・期 日：令和5年4月15日（土）
- ・場 所：オンライン（ZOOM）
- ・内 容：福井県における伝統的水産加工品の科学
- ・参加人数：20人
- ・そ の 他：世話人袁春紅（岩手大学教授）

食育講座シリーズ

- ・対 象：大学生・一般市民
- ・期 日：令和6年2月18日（土）
- ・場 所：農学部第1会議室（1号館）
- ・内 容：水産食品を活用したスマートエイジング
- ・参加人数：30人
- ・そ の 他：世話人袁春紅（岩手大学教授） など

食育講座シリーズ

- ・対 象：大学生・一般市民
- ・期 日：令和6年3月14日（木）

- ・場 所：農学部第2会議室（2号館）
- ・内 容：インピーダンスを用いた魚肉肉質測定装置の開発
- ・参加人数：25人
- ・そ の 他：世話人袁春紅（岩手大学教授）

（共同獣医学科）

「動物のお医者さんになるためには 産業動物獣医師は何をしているの」

- ・対 象：中高生および一般市民
- ・期 日：令和6年3月19日（火）
- ・場 所：ぼらんホール
- ・参加人数：対面参加者38名、Web参加者8名（計46名）
- ・内 容：昨今、「産業動物獣医師不足」が話題となっているが、獣医学に興味を抱く中高生および一般市民を対象に、産業動物獣医師の仕事内容と重要性、そして産業動物獣医師になるための進路選択に役立つ情報を提供することを目的に実施した。具体的には、産業動物に携わる教員2名による講演の後に質疑応答をおこなった。

イ アグリビジネス創出フェアへの出展

- ・開 催 日：令和5年11月20日（月）～11月22日（水）
- ・場 所：東京ビッグサイト 南2ホール
- ・内 容：水産ブース：地域に根差したサーモン養殖研究の取り組み
（食料生産環境学科 平井俊朗教授・三陸水産研究センター）

ウ その他

（附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター）

花苗販売会

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年4月6日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：40名
- ・内 容：ビオラ、パンジー苗を中心に春の花壇の花苗を販売した。

ブルーベリー摘み取り

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年7月10日（月）、7月13日（木）、7月18日（火）、7月20日（木）、7月24日（月）、7月27日（木）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：300名
- ・内 容：新型コロナウイルス対策のため完全予約制で実施した。

第28回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年8月3日（木）
- ・場 所：学生センター横
- ・参加人数：約100名

- ・内 容：植物生命科学科3年生が履修する農場特別実習の一環で、学生が収穫、調整した農場生産物を販売した。販売物は、トウモロコシ、モモ、ブルーベリー、エダマメ、味噌、雑穀、花苗等であった。

第29回森の駅市場

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年12月1日（金）
- ・場 所：学生センター前
- ・参加人数：約120名
- ・内 容：植物生命科学および食料生産環境学科食産業システム学コース2年生が履修する農場実習IIの一環で、学生が収穫、調整した農場生産物を販売した。販売物は、リンゴ、サツマイモ、ダイコン、サトイモ、コメ、シクラメン、ブルーベリージャム、味噌、雑穀等であった。

リンゴ即売会

- ・対 象：一般市民
- ・開 催 日：令和5年12月13日（水）
- ・場 所：滝沢農場
- ・参加人数：131名
- ・内 容：家庭用向け‘ふじ’などを参加者がコンテナから選び、袋に詰め、計り売りした。その他、農場の生産物も販売した。

牛肉販売会

- ・対 象：岩手大学職員
- ・開 催 日：令和5年12月15日（金）
- ・場 所：農学部2号館第2会議室
- ・参加人数：約100名
- ・内 容：御明神牧場産の経産放牧肥育牛を株式会社いわちくで解体処理、パック詰めし、販売した。

2. その他の地域連携事業

(1) いわてアグリフロンティアスクール

ア 事業実施の背景、目的

(ア) 平成 24 年度までの取組経過

日本農業の現状を背景とし、国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成するため、経営感覚・企業家マインドを持つ先進的な農業経営者を養成できる教育プログラムの開発と実践が求められた。

岩手大学では、こうした要請に応えるべく文部科学省の支援を受け、岩手大学を事業主体の中心として岩手県及び農業団体と連携し、建学の精神（地域のための農学）に立ち返る「いわてアグリフロンティアスクール」を平成 19 年度に設立して、産官学連携による先進的な農業経営者等の養成を目指す教育を展開してきた。

平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間、農業者、農業関係の県・市町村・団体職員などを対象に、農業経営、生産管理、マーケティング及び農業ビジネス戦略計画書を策定する教育プログラムを開発・展開した。この間、延べ 446 名が本スクールを受講し、延べ 254 名に学校教育法第 105 条に基づき、履修証明書を交付した。また、評価委員会で合格とされた 133 名には、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与している。

(イ) 新体制での取組(平成 25～27 年度)

前年度までで社会人再教育としての所期の目的が達成され、文部科学省の事業として岩手大学における取組を終了することとした。一方、農業における先導的な経営体育成に向けて岩手県や農業団体より強い継続要望があり、予算を含めた県・農業団体・岩手大学 3 者の連携によって農業者教育を続けることとした。

平成 25 年 4 月 23 日には、岩手県農林水産部長、岩手県農業協同組合中央会常務理事及び岩手大学農学部長の 3 者による「いわてアグリフロンティアスクール運営協議会」を新設して開講式に臨んだ。

本スクールから、岩手県内の認定農業者、農業経営者、農業後継者及び農業従事者等を対象として岩手大学が開発した教育プログラムに基づく教育を展開することとした。また、所定の条件を満たした修了者にはこれまでと同様に学校教育法に基づいて履修証明書を交付し、岩手大学が認定する「アグリ管理士」の資格を授与した。平成 25～27 年度の受講者は 89 名で、履修証明書は 66 名に交付、「アグリ管理士」の資格は 61 名に授与された。

(ウ) 平成 28 年度のカリキュラム等の再編と令和 4 年度の事業内容

岩手県及び岩手大学の長期計画等の見直しを機に、平成 28 年度より過去 3 カ年の実施状況を踏まえ、主に募集対象者や科目構成について大きく見直した。受講対象にはこれまでの認定農業者等に加えて、6 次産業に取り組む者、農村地域活動に携わる者を募集することとし、定員も 30 名から 35 名に増員した。カリキュラムとしては、従来の農業経営科目群に、6 次産業化科目群及び農村地域活動科目群を新設した。修了者の履修証明書交付やアグリ管理士資格授与の手続きは従来と同じである。

令和 3 年度はこれまでの事業内容を踏襲しながら、選択可能な科目の幅を広げるカリキュラム見直しや、新型コロナウイルス感染症対策による講義スケジュールの変更、遠隔講義の試行などの一部改変を行なった。

平成 28～令和 5 年度の受講生は 246 名で、履修証明書は 212 名に交付され、「アグリ管理士」は 205 名に授与された。

イ 令和 5 年度の実施状況

- (ア) 開講式 令和 5 年 5 月 23 日（火）
- (イ) 開講期間 令和 5 年 5 月 23 日（火）～令和 5 年 1 月 24 日（金）
- (ウ) 修了式 令和 6 年 2 月 8 日（木）
- (エ) 入学者数 25 名
- (オ) 修了者数 24 名（うちアグリ管理士資格授与者 22 名）

科目名			日数	時間数 (単位：h)	科目群		
					農業経営	6次産業化	農村地域活動
「経営管理」 科目	農業を巡る内外情勢	講義	0.5	3	○	○ 18時間 以上 ※1	○
	農業経営の発展と農業協同組合	講義	1	6	○		○
	人的資源・労務管理	講義	1	6	○		○
	経営成長・経営継承	講義	1	6	○		○
	農業経営戦略論	講義	1	6	○		○
	会計・財務管理と経営診断	講義・演習	2	12	◎	◎	○
	農業簿記・経営診断演習	講義・演習	1	6	○	○	○
「戦略計画」 科目	農業経営戦略演習	演習	1	6	◎	◎	◎
	経営改善計画演習	演習	1	6	◎	◎	—
	農業・食ビジネス戦略計画の策定	講義・演習	2	12	◎	◎	—
	地域振興戦略計画の策定	講義・演習	3	18	—	—	◎
	戦略計画のプレゼンテーション	発表	1	6	◎	◎	◎
「農業生産管理」 科目	土壌管理（土壌・肥料）	講義	1	6	○ 9時間 以上 ※1	○ 9時間 以上 ※1	○
	病害虫管理（防除・農薬）	講義	1	6			○
	農業生産の工程管理	講義	1	6			○
	農業機械	講義・演習	0.5	3			○
「6次産業化推進」 科目	鮮度保持・流通技術	講義	1	6	○ 12時間 以上 ※1	○ ○ ○ ○	○ 9時間 以上 ※1
	農産加工品のマーケティング	講義	1	6			
	地域資源活用論	講義	1	6			
	食産業ビジネス論	講義	1	6			
「農業農村 マネジメント」 科目	地域担い手形成論	講義	1	6	○ 12時間 以上 ※1	○ 9時間 以上 ※1	○
	地域マネジメント論	講義・演習	1	6			○
	地域リーダー活動演習	講義・演習	1	6			○
	都市農村交流論	講義	1	6			○
	地域活性化論	講義・演習	2	12			◎
「マーケティング」 科目	食の安全管理	講義	1	6	○	○	○
	商品開発	講義	0.5	3	○	○	○
	デザインとブランド	講義・演習	1	6	○	○	○
	ネット&デジタル技術活用	講義	1	6	○	○	○
現地研修等	現場スタディ	現地研修	2	12	○	○	○
	マーケティング改善演習※2	演習・現地研修	2	12	○	○	○
	農業技術先進地研修※2	現地研修	2	12	○	○	○
	6次産業関連現地研修※2	現地研修	2	12	○	○	○
	アグリ管理士との意見交換	講義・意見交換	1	6	○	○	○
	インターンシップ【選択科目】	現地研修	1	6	※○	※○	—
受講可能時間数：225時間、修了にかかる必須時間数：120時間（必修科目含む） ※1：記載の単位数以上受講することが望ましい ※2：インターンシップを行う者は※2の科目のいずれかと振替可能 対面とリモートのハイブリット型の講義（7～10講義程度）を予定							

(2) AFR（岩手農林研究協議会）

AFRは、岩手県農林研究協議会の略称で、平成10年3月に高橋壮学部長（当時）の提唱で、岩手県内の農林科学技術や研究開発に係わる関係者（県農業研究センター、県林業技術センター、県工業技術センター等の県関係試験研究機関、農林業関係民間企業及び岩手大学地域共同研究センター、岩手大学農学部の関係者）が連携して共同研究等の推進を図り、地域の農林業の振興発展に寄与するために発足、平成30年現在、構成機関は、岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手生物工学研究センター、東北農業研究センター、森林総合研究所東北支所の6公所で、「岩手育種談話会」、「木勉会（木を勉強する会）」など7の研究会が多方面にわたり産官学の共同研究を展開している。

AFRの研究会一覧

【令和6年3月現在】

分類	名称	代表者	目的
農	岩手育種談話会	畠山勝徳（岩大農）	岩手県の植物育種に関する事業、研究等を行っている関係者間の研究交流、情報交換を目的とする。
	りんどう研究会	高畑義人（岩大名誉教授）	りんどうの分子生物学的及び細胞生物学的手法を用いて研究している研究者・技術者及び交配種法等従来技術を用いて品種育種している個人育種家等の相互の情報交換を促進し、もって関連領域の研究活動を活性化し、地域におけるりんどうの振興に寄与するとともに会員相互の学術交流を図ることを目的とする。
業	イワテヤマナシ研究会	片山宏則 （神戸大学大学院農学研究科）	岩手県の宝であるイワテヤマナシ（ミチノクナシ）を遺伝資源として蘇らせ、新たな利用方法を開発し、地域振興への活用を図り、次の世代に引き継ぐことを目的とする。
	岩手野菜研究談話会	金澤俊成（岩大教育）	本会は、岩手県内で研究を行っている野菜関係の研究者が、各自の研究や岩手県内の野菜等について、自由な立場で意見交換を行いながら、互いの研究を深め、岩手県や東北の野菜振興について話し合うことを目的とする。

分類	名称	代表者	目的
林	岩手・木質バイオマス研究会	伊藤幸男（岩大農）	この研究会は、木質バイオマス利用の普及を通じて、岩手の風土、地域性に根ざした循環型社会の形成に資することを目的とする。
	木勉会 （木を勉強する会）	関野 登（岩大農）	森林・林業・木材産業・建築といった川上から川下までの相互理解を深め、木材利用の活性化を、健全な森林の育成・保全・利用の活性化を通じて、森林の育成・保全・利用の一助となることを目的とする。
業	木質資源総合利用研究会	関野 登（岩大農）	低炭素輩出社会並びに高炭素蓄積社会の構築には、木質資源の持続的かつ総合的な利用が重要となる。本研究会は、木質資源の利用拡大に向けて、構成員が係わる分野の技術課題や現状について情報交換を行うとともに、研究連携の基盤を醸成することを目的とする。

3. 受託研究員の受入

氏 名	最終学歴		所属会社名 又 は 機 関 名	研究題目	研究期間		受 入 研究科・ 専攻等	指導教員	
	区 分				開 始	終 了		職名	氏 名
秋山 潤	C	令和3年度	岩手県食肉 衛生検査所	と畜動物に認められる疾病の病 理組織学的研究	R5.8.1	R6.1.31	共同獣医学科	教授	落合謙爾

※区分=大学院博士「A」、大学院修士「B」、大学卒「C」、大学院入学資格者「D」、その他「E」

VI 附属施設

1. 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

1-1. 地域フィールド総合科学分野（第一分野）

(1) 概要，教育研究の内容

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター第1分野（農学部内）は、本センターの設置（2002. 4. 1，平14）に伴って設置された。

第1分野は、地域フィールド総合科学分野と称し、フィールドサイエンスに関する教育研究を企画立案し、農学部と地域社会との窓口（連携調整）の役割を担っている。また、地域の活動や課題を調査研究し、総合的フィールド科学教育、地域マネジメント、農畜林複合経営などの実践的な教育研究を行う。さらには、農学部からの協力教員の参加を得て、フィールド科学に関する情報の収集・発信、地域からの支援要請、依頼研究、共同研究を推進する。

(2) 地域貢献

地域貢献事業は、職業的専門家（経営者・技術者等）、一般市民・児童生徒を対象に開催されている。職業的専門家が対象の事業には、獣医師対象の研修や森林・林業技術者のスキルアップを目指した研修などがある。一般市民・児童生徒が対象の事業では、中学生対象の森林学習やセンター産農林産物の直売などが行われている。

1-2. 持続型農業生産技術分野（第一分野，滝沢農場および御明神牧場）

(1) 概要

持続型農業生産技術分野は、滝沢農場と御明神牧場から成り立っている。

・滝沢農場（所在地：岩手県滝沢市菓子1552，面積44ha）

本農場は1902（明35）年に盛岡高等農林学校が創設されるに当たり、校舎敷地内（現上田キャンパス）に設置された附属実験農場が始まりである。その後の新制大学移行に伴い、大学の整備計画の進展と農業近代化に対応するため1966（昭41）年に農林省種畜場用地の一部所管換えを受け、滝沢農場が設立された。以後、1976（昭51）年3月に農産製造実験実習棟が新築されたのを始め、温室、果樹収納貯蔵庫、短期学生宿舍が新設されるなど、施設・設備の整備が行われ現在に至っている。現在は作物および園芸の2部門を柱に、学生の実習教育や教員・大学院生等の研究に活用されている。

・御明神牧場（所在地：岩手郡雫石町御明神大石野，54ha）

本牧場は、1906（明39）年に設置された盛岡高等農林学校附属経済農場に始まる。戦前には文部省第一拓殖訓練所が併設され、多くの若者が満蒙開拓の夢を抱いて現牧場用地の開墾を行った。大学移行後の農学部附属経済農場を経て1984（昭59）年に農学部附属御明神牧場と改称された。ここでは山麓高冷地の立地条件を活かし、家畜の飼養管理と衛生、飼料作物管理とサイレージ調製を中心に実習教育が行われている。近年は、黒毛和種の優良系統を導入して繁殖育成に関する高度な研究が行われている。

(2) 教育研究の内容

実習教育の充実、卒業論文の指導、地域貢献を柱に、教育研究活動を展開している。学内において当分野が担当するのは、作物、園芸、畜産に関する基本技術についての体系的な実習教育である。また、盛岡大学・富士大学の实習や岩手県立盛岡みたく支援学校高等部・岩手大学教育学部附属特別支援学校の農業体験実習等を行っている。加えて、当分野のフィールドでは教育学部や理工学部も含めた多様な実験・実習が行われている。地域貢献では「いわてアグリフロンティアスクール、御明神牧場リカレント教育」などが行われている。

(3) 実習等

滝沢農場及び御明神牧場で実施する学生実習等は、次表のとおりである。

農場実習・牧場実習（学内向け）

学科・課程名等	科 目	単位数	2年		3年	全学	場 所
			前期	後期	前期	後期	
全学向け教養教育	地域クリエイト課題演習	2				3時間	一部を滝沢農場・御明神牧場で実施
植物生命科学科	農場実習Ⅰ	1	3時間				滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習Ⅰ	1	3時間				滝沢農場
植物生命科学科	農場実習Ⅱ	1		3時間			滝沢農場
食産業システム学 コース	農場実習Ⅱ	1		3時間			滝沢農場
植物生命科学科	農場特別実習	1			5日間		滝沢農場
食産業システム学 コース	農場特別実習	1			5日間		滝沢農場
教 育 学 部	栽培理論Ⅰ	2					一部を滝沢農場で実施
教 育 学 部	栽培理論Ⅱ	2					一部を滝沢農場で実施
動 物 科 学 科	牧場実習	1			3泊4日		御明神牧場、2022年度は日帰り4日

学部実習等への協力並びに施設の利用計画

学科・課程名等	科 目	前期	後期	摘 要
動 物 科 学 科	牧場実習	3年		一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験Ⅰ（動物遺伝育種学、動物行動学）		2年	一部を御明神牧場で実施
	動物科学実験Ⅱ（動物繁殖学）	3年		一部を御明神牧場で実施
	人工授精師講習会実習		4年	一部を御明神牧場で実施
獣医学科	繁殖機能制御学実習		4年	一部を御明神牧場で実施
	産業動物臨床（応用編）	5年		一部を御明神牧場で実施
	大動物臨床実習基礎編	5年		実習牛の貸し出し
	産業動物臨床（基礎編）		4年	一部を御明神牧場で実施
	動物衛生学実習		1年	一部を御明神牧場で実施
	小動物内科学実習・応用編		4年	一部を御明神牧場で実施
	実習牛の飼養管理			年間を通して4頭程度の実習牛の飼養管理に協力
東京農工大学 共同獣医学科	総合参加型臨床実習Ⅴ、Ⅵ	5年		一部を御明神牧場で実施
学 生 支 援 課	特別支援学生による活動プログラム	特別支援 指定学生	特別支援 指定学生	特別支援指定学生、3～5名（全学、大学院）。上田下台圃場における、農作業体験、栽培体験

学外実習等への協力並びに施設の利用計画

学外機関名	科目	のべ人数	日時	摘 要
附属特別支援学校	実習	40		
みたけ支援学校	農場実習	54		滝沢農場で年間5回
盛岡大学	生物学Ⅰ	28	5月	一部滝沢農場で実施
富士大学	フィールドワークⅠ	34	8月	一部御明神牧場, 御明神演習林で実施
	フィールドワークⅡ	23	7月	一部滝沢農場で実施
盛岡大学	地域食料資源論	31	10月	一部滝沢農場で実施
	生物学Ⅰ	25	10月	一部滝沢農場で実施
滝沢中央小学校		105	10月	一部滝沢農場で実施
滝沢第二小学校		80	11月	一部滝沢農場で実施
中央畜産会「牛獣医療実践セミナー」		8	8月	一部御明神牧場で実施
盛岡ペットワールド	インターンシップ実習	4	7月	一部御明神牧場で実施
サイエンススクール		10	7, 8月	実習牛の貸し出し
東京大学大学院農学生命科学研究科	獣医学専攻比較動物医科学講座	1	11月	実験牛の提供

滝沢農場 開放事業等 (2023年度)

月 日	部門	内 容 等	担当職員	参加者	案内方法等
4月6日(木)	温室	花苗販売	5名	40名	ハガキ50枚で案内
7月10日(月)	果樹	ブルーベリー 摘み取り	全員	48名	学内メール, ハガキ100枚で案内, すべて予約制
7月13日(木)	果樹		全員	48名	
7月18日(火)	果樹		全員	45名	
7月20日(木)	果樹		全員	49名	
7月24日(月)	果樹		全員	49名	
7月27日(木)	果樹		全員	61名	
8月3日(木)	果樹	販売会	5名	100名	学内メール, 上田キャンパス (農場実習)
12月1日(金)	果樹	販売会	7名	120名	学内メール, 上田地域町内会へのチラシによる案内 上田キャンパス (農場実習)
12月13日(火)	果樹	リング販売会	8名	101名	ハガキ100枚で案内

(4) 土地利用計画 (単位 a)

	滝沢農場	御明神牧場	合 計
水 田	544		544
畑 作	71		71
牧 草 地	900	3,400	4,300
果 樹 園	430		430
蔬 菜 園	26		26
花 卉	1		1
温 室	4		4
野 草 地		400	400
小 計	1,976	3,800	5,766
建物敷地, 防風林	1,805	1,552	3,357
総 計	3,781	5,352	9,133

(5) 家畜

家畜頭数（令和6年3月31日現在）

種 類	御明神牧場
成育肉牛	73 頭
育成肉牛	41 頭

(6) 農畜産物売払高

令和5年度 部門別売払高	
部 門	売 払 高
稲 作	6,014 千円
畑 作	48 千円
果 樹	2,923 千円
蔬 菜	192 千円
花 卉	170 千円
農産製造物	897 千円
飼 養	22,828 千円
飼 料 作	0 千円
そ の 他	21 千円
合計	33,093 千円

1-3. 循環型森林管理技術分野（第二分野、御明神演習林、滝沢演習林、実験苗畑）

(1) 概要

循環型森林管理技術分野のフィールドは、御明神演習林（岩手県岩手郡雫石町）、滝沢演習林（岩手県滝沢市）の2演習林と実験苗畑（岩手県盛岡市上田）から成っている。二つの演習林は比較的近距離にあるが、地形、地質、気象、植生など立地条件が異なった特徴をもっており、それぞれの対照的な立地特性を生かし、森林科学の基礎的研究や応用研究が行われている。また、学生の実験実習や卒論・修論研究の場として活用されているほか、動植物、地質、土壌などに関する自然研究や教育にも広く利用されている。

御明神演習林は、1905（明38）年12月農商務省から国有林の所管換えを受け、本学の前身盛岡高等農林学校附属演習林として設置された。1906（明39）年10月に設置された隣接する岩手大学農学部附属経済農場山林を併合し、現有面積は1,040.34haである。

滝沢演習林は、1913（大2）年3月農商務省から国有林の所管換えを受け設置された。1919（大8）年10月これに北接する国有林の所管換えを受け拡大したが、その後東北本線の線路変更による交換分合、四十四田ダム用地としての建設省への所管換えなどで、地積、形状に変動があり、現有面積は280.51haである。

実験苗畑は、盛岡高等農林学校創設とともに、キャンパス北辺に林学苗圃として設けられ、当初は林学実習場として広く保有していたが、その後大学の諸施設の建設に伴い、現在の下台地区に移転し、現有面積は6,080 m²である。

(2) 教育研究の内容

演習林は農学部における森林に関する教育研究の場として、非常に重要な役割を果たしている。演習林を利用して行われている最近の研究テーマには以下のものがある。

森林科学科：「森林収穫技術の高度化」、「森林路網技術」、「広葉樹二次林構成樹種の生理特性と更新」、「ヒバ林の更新メカニズム」、「スギ人工林における光環境と光合成生産」、「林業用車輛の安定性」、「林業作業の労働負担」、「林業の労働形態」、「複層林地施業」、「ケヤキ林施業」、「斜面侵食と土砂流出」、「中小径広葉樹の材質と利用」、「木材の含有成分」、「GIS・GPS・RSによる森林管理技術」、「森林バイオマス利用と造成」、「森林環境教育」、「森林に対する市民の意識」

この他にも他大学、研究機関などから、林業に関する研究のみではなく広く自然研究にも利用されている。演習林はこれらの研究の場を提供して人的・物的に補助協力するのみではなく、共同研究や独自の基礎的、応用的な調査、研究を実施しており、教育面では、学生の実験実習の場として頻繁に活用されている。

農学部における主要な実習には以下のものがある。

森林測量学実習Ⅰ、森林測量学実習Ⅱ、林道工学実習、砂防学実習、林業生産工学実習、野生動物管理学実習、総合フィールド科学実習、森林計測学実習、森林造成学実習

他学部の実習としては、人文社会科学部の野外生物学実習、教育学部の植物学特別実験が実施されている。

御明神演習林および滝沢演習林は、平成28年度から文部科学省の「教育関係共同利用拠点」に認定されており、これまで、鹿児島大学「温帯林概論」、富士大学「フィールドワークⅠ」「フィールドワークⅡ」、岩手県立大学「専門演習入門」「環境調査実習」などを中心に、日本女子大学、早稲田大学、立教大学など幅広い学問領域で学ぶ他大学の実習に利用されている。加えて、全国の大学生を対象とした公開森林実習「森林インターンシップ」「冷温帯林と持続的森林・林業」を実施している。

また、演習林を会場として林業技術者を対象としたフォレストテクニカルエクステンションや一般市民・児童・生徒を対象に森林教育を行うフィールドセミナーも開催されている。

(3) 御明神演習林

地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
1,040.3	265.8	229.9	6.9	263.1	248.4	1,014.1	26.2

資料：御明神演習林第2次森林管理計画書

森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積m ³		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	276.8	116,373	2,813	119,186
天然林	727.7	92,583	70,224	162,807
無立木地、他	35.8	45	28	73
計	1,040.3	209,001	73,065	282,066

資料：御明神演習林第2次森林管理計画書

(4) 滝沢演習林

地種別面積

総面積 ha	学術研究林						除地 ha
	生態系保護研究林	特定研究林	見本研究林	保全研究林	施業技術研究林	計	
280.5	23.6	23.3	33.9	33.9	156.0	270.6	9.9

資料：滝沢演習林第2次森林管理計画書

森林の現況

区分	面積 ha	立木蓄積m ³		
		針葉樹	広葉樹	計
人工林	112.2	61,870	2,363	64,234
天然林	157.4	36,681	14,916	51,596
無立木地、他	10.9	—	—	—
計	280.5	98,551	17,279	115,830

資料：滝沢演習林第2次森林管理計画書

(5) 林産物の販売（令和5年度）

区 分		販 売 額
素 材	御明神演習林	16,746 千円
	滝沢演習林	14,858 千円
	(小計)	31,604 千円
その他（木工品）	御明神演習林	0 千円
	滝沢演習林	0 千円
	(小計)	0 千円
計		31,604 千円

2. 附属動物病院

(1) 概要

附属動物病院の前身である家畜病院は盛岡高等農林学校創立の翌年（1903 年）に設置されて以来、既に 100 年以上の歴史を刻んでいる。戦前戦後長く使われてきた木造建物（1,485 m²）を経て、昭和 46 年には鉄筋コンクリート造りの本館（1,051 m²）が建造され、昭和 53 年に入院舎（100 m²）、59 年に別棟（391 m²）が増築された。以来 40 年が経過して老朽化し、現在の獣医学教育病院の水準に合致する施設設備とはほど遠い状態が続いていた。この間、平成 15 年に呼称を動物病院に改め、診療体制の見直しを図ってきた。平成 24 年度からは本学と東京農工大学とで共同獣医学科を発足させ、双方の大学で獣医学教育を補完しながら、これまで以上に高度化させる体制となった。本学における臨床実習と診療の高度化を図るため、全学からの支援と文部科学省の補助金を使って、平成 25 年 4 月に伴侶動物診療棟（総面積 1,922 m²）の新築工事が完成し、引き続き旧来の動物病院建物は産業動物診療施設に大改修された。

新築された伴侶動物病院棟は広い待合室、5 つの診療室、処置室、犬猫別の入院室、陽圧手術室、各種検査室など高度獣医療を担うに相応しい施設となり、最新の医療機器が設置された。主な診療設備として、MRI 診断装置、X 線 CT 撮影装置、伴侶動物用 X 線撮影装置、超音波断層撮影装置、手術用 X 線透視装置、デジタル画像データ管理装置、内視鏡、腹腔鏡、硬性鏡、手術顕微鏡、血圧透析装置、ホルター心電計、全自動血液生化学測定装置、電解質・血液ガス分析装置、血球自動計数装置、伴侶動物集中治療用ケージ、麻酔機および麻酔監視装置などがある。平成 30 年度にはこれまで 1 室であった外科手術室に加え、施設の改修を行い第二手術室を設置した。令和元年度には、受付業務の簡素化を図り、紙媒体に頼らない診療記録の保存のために、院内ネットワークシステムを構築し電子カルテシステムを導入した。産業動物の臨床教育と研究には、産業動物診療施設を利用するほかに、7 名乗りワゴン車、検査機器と冷蔵庫を装備した 5 名乗りワゴン車、家畜運搬車および自家発電機を搭載して全自動血液生化学測定装置、冷却遠心機、冷凍・冷蔵庫、純水製造装置、携帯用超音波診断装置などを装備した家畜検診車が稼働している。また、治療台、无影灯、顕微鏡、超音波断層撮影装置、伴侶動物用 X 線撮影装置、麻酔監視装置、血液生化学簡易測定装置、電解質分解装置、血球自動計測装置など一通りの診療機器を装備した犬猫用移動診療車は、東北各県の獣医師会と協定を締結し、災害発生時などに獣医師会に貸し出すなどして被災地域の診療に役立てている。

本学動物病院では産業動物と伴侶動物のバランスのとれた臨床教育をめざし、症例は犬猫だけではなく牛馬も多い。近年では人材は財産との考えから動物病院予算にて雇用するスタッフの充実を図り特任助教 3 名、更には研修医を 2 名雇用し診療スタッフの充実を図るとともに、動物看護師も 10 名まで増員し診療補助スタッフの充実も図っている。さらには産業動物診療を補助するスタッフとして農学部より技術職員を 1 名、さらに検査室の技術職員を 2 名派遣していただいている。この取り組みを通じて伴侶動物症例のみならず、牛の外来受診件数を増加させて学生実習に活用すると共に、キャンパス近隣に位置する農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター、家畜改良センター岩手牧場、岩手県畜産研究所、小岩井農場技術研究センター、八幡平市繁殖育成センターなどとの協力で臨床実習牛を確保し、臨床教育や研究の充実を図っている。また、岩手県内の農業協同組合や農業共済組合と連携して家畜検診車を使って牛や馬の集団検診を実施している。伴侶動物診療棟の稼働を機に、平成 25 年から伴侶動物外来診療体制は、原則東北各県の開業獣医師からの紹介症例のみを診察する二次診療体制に移行して、地域の開業医師と連携を図っている。

(2) 診療状況

① 症例頭数及び収入（令和5年度 単位：頭、円）

	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
診療 頭数	2,282	895	-	4,161	83	-	1	1	7,423
金額	129,090,780	32,646,560	-	10,922,974	1,563,380	-	19,890	39,880	174,283,464

② 学用症例頭数及びこれに要した診療費（令和5年度 単位：頭、円）

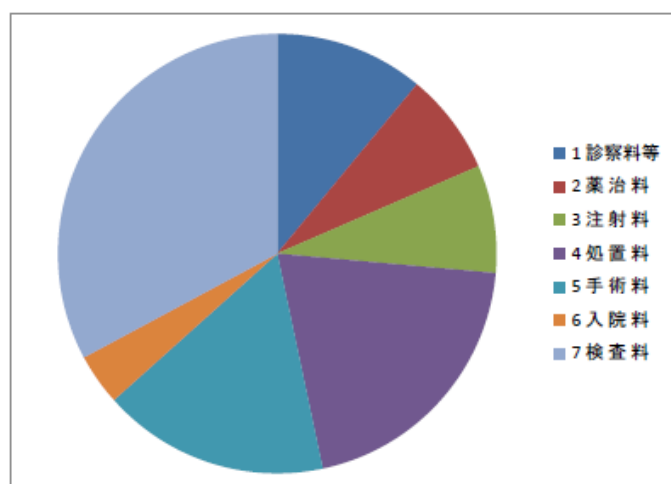
	犬	猫	エキゾ	牛	馬	豚	緬・山羊	その他	計
学用頭数	-	-	-	216	33	-	-	-	249
金 額	-	-	-	216,145	27,420	-	-	-	243,565

③ 診療収入の内訳

令和5年度(R5. 4. 1~R6. 3. 31 単位:円)

診察科目	金 額	割 合
1 診察料等	19,136,058	11.0%
2 薬 治 料	13,090,530	7.5%
3 注 射 料	13,837,740	7.9%
4 処 置 料	35,283,950	20.2%
5 手 術 料	29,147,800	16.7%
6 入 院 料	6,591,200	3.8%
7 検 査 料	57,196,186	32.8%
総 計	174,283,464	100.0%

④令和5年度動物病院収入内訳



(3) 臨床教育の内容

動物病院では4年次、5年次学生に対し小動物内科学実習（基礎編&応用編）合計2単位、大動物内科学実習1単位、小動物外科学実習（基礎編&応用編）合計2単位、大動物外科学実習1単位、獣医臨床繁殖学実習1単位、獣医画像診断学実習1単位、総合参加型臨床実習（I, II, V, VI）合計4単位の実習を履修させている。さらに、平成24年度より開始された東京農工大学との共同獣医学科における総合参加型臨床実習V, VIとして、平成28年度より東京農工大学に在籍する5年次学生に対して合計2単位の実習を岩手大学農学部附属動物病院にて履修させている。総合参加型臨床実習は伴侶動物と産業動物診療の総合的な臨床実習で、例年6月から12月初旬まで12週間にわたり火曜日と水曜日に5年次学生を班分けして、伴侶動物は院内にて外来診療動物を、産業動物は附属動物病院所属の獣医師に加え、近隣の獣医師を委嘱して牛の診療実習をさせている。総合診療実習の最終回には全員が担当症例をまとめた発表会を実施している。なお、岩手大学に所属する5年次学生は総合参加型臨床実習III, IVとして東京農工大学動物医療センター（東京都府中市）における臨床実習と本学での農工大教員による対面実習（合計2単位）の実習を履修している。

本年度発表会のプログラムは別表のとおりである。

日時:令和5年11月16日 午前10時開始
場所:岩手大学教育学部北棟ホール

令和5年度 フィールド実習症例報告会 プログラム

1. 開会・司会(一條俊浩先生)
2. 開会の挨拶(片山泰章動物病院院長)
3. 発表注意事項(発表時間5分、質疑応答3分)
4. 発表準備(座長、演者スタンバイ)

番号	名前	名前(カナ)	担当教員・獣医師	演 題	タイムスケジュール
座長:小林沙織先生					
1	矢下 大登	ヤシ ダイト	藤原玲奈先生	てんかん発作が主訴の犬の髄膜腫(顆粒細胞腫)	10:05~10:13
2	佐藤 翠奈美	サトウ ミナミ	内田先生・中田先生・山崎先生	脂肪肉腫を併発した犬の脳腫瘍	10:14~10:22
座長:藤原玲奈先生					
3	井上 真帆	イノウエ マホ	内田先生・星野先生	柴犬の肥満腸胃腫	10:33~10:41
4	岡田 澄美歩	オカダ スミホ	内田先生・森田先生	ゴールデン・レトリバーにおける多中心型リンパ腫	10:42~10:50
座長:森田智也先生					
5	浅野 弘喜	アサノ ヒロキ	藤原玲奈先生	トイプードルの先天性門脈体循環シャント	10:51~10:59
6	小林 雅	コバヤシ マチ	星野有希先生	犬のアミロイド産生性炎症性腫瘍	11:00~11:08
7	板 祐慈	イタ ユヅ		血糖コントロールが困難な糖尿病の犬	11:09~11:17
休憩(10分)					
座長:中田浩平先生					
8	牧野 能希	マキノ ノホ	山崎真大先生	トイプードルの消化器型リンパ腫	11:27~11:35
9	柳橋 蘭珠	ヤナハシ ランジュ	森田智也先生	大動脈血栓症を併発した肥大型心臓症の猫(その1)	11:36~11:44
10	岩井 友希	イワイ ユキ	森田智也先生	拘束型心臓症(心内臓心腔型)による後肢麻痺を呈した猫(その2)	11:45~11:53
座長:南雲隆弘先生					
11	白石 ちひろ	シライシ ヒロ	森田智也先生	犬の骨髄閉鎖不全症stageC	11:54~12:02
12	竹山 敦士	タケヤマ アツシ	小林沙織先生	ヨークシャー・テリアの子宮蓄膿症	12:03~12:11
13	田中 沙季	タナカ サキ	内田先生・小林先生	猫の下顎に見られた扁平上皮癌	12:12~12:20
座長:星野有希先生					
14	宮崎 亮那	ミヤザキ リョナ	中田先生	フレンチブルドッグにおける起源不明髄膜脳脊髄炎	12:21~12:29
15	山本 翼	ヤマモト ツバサ	森田先生	猫の炎症性気管支疾患	12:30~12:38
昼 食					
座長:金澤田美先生					
16	大野 幸弥	オホノ ユキ	一條俊浩先生	ホルスタイン種における光線過敏症	13:30~13:38
17	金網 裕一	カナメ ヒロユキ	田宮恵先生・宮崎先生	繁殖成績向上を目指す酪農家の牛群検診2023	13:39~13:47
18	亀水 麻衣	カメミズ マイ	田村倫也先生・木村淳先生	ホルスタイン種乳牛の蹄皮膚炎と蹄底潰瘍	13:48~13:56
座長:原井周二先生					
19	浅見 南月	アサミ ナツキ	宮崎珠子先生	ホルスタイン種子牛の気管支肺炎	13:57~14:05
20	守屋 美羽	モリヤ ミホ	木村淳先生	ホルスタイン種子牛におけるクリプトスポリジウム症	14:06~14:14
21	佐藤 怜美	サトウ レイミ	宮崎珠子先生	日本スポーツホース種の細菌性蹄炎	14:15~14:23
休憩(10分)					
座長:木南聡子先生					
22	遠原 優衣	トウハラ ユイ	加藤淳郎先生・宮崎珠子先生	コーンサイレージ給与を主体とした酪農家の牛群検診	14:33~14:41
23	木元 大聖	キモト ダイセイ	工藤先生(NOSAI岩手)	膀胱腫瘍の焼灼処置を行った黒毛和種牛	14:42~14:50
24	草山 実久	クサヤマ ミチ	高島先生	空腸断裂を起した黒毛和種子牛	14:51~14:59
座長:宮崎珠子先生					
25	李 恵美理	リ エミ	田村倫也先生・木村淳先生	ホルスタイン種乳牛の第四胃右方室位	15:00~15:08
26	小林 加奈	コバヤシ カナ	木村先生・一條先生	黒毛和種子牛の起立不能を伴う関節炎・骨髄炎	15:09~15:17
27	遠山 風夏	トウヤマ フユカ	木南先生・一條先生	黒毛和種子牛における断蹄術	15:18~15:26
座長:高橋正弘先生					
28	今井 涼音	イマイ リョウネ	宮崎珠子先生	サラブレッド種の右眼球角膜混濁と水晶体脱臼	15:27~15:35
29	林 瑞穂	ハヤシ ミズホ	田村倫也先生・木村淳先生	黒毛和種子牛の右中手骨遠位成長板骨折	15:36~15:44
30	夏目 空智	ナツメ アキラ	関まどか先生	ホルスタイン種育成牛における寄生虫の混合感染症	15:45~15:53

5. 講評(片山泰章動物病院院長)
6. 閉会(一條)

16:00 終了予定

3. 附属植物園

(1) 概要

附属植物園は、盛岡高等農林学校創設時（明治 35 年）、敷地東南部に設置され、数年後に現在の教育学部構内北部に移転した。昭和 49 年、大学整備拡充に伴い創立当時の植物園、樹木園、校舎敷地を合わせ現在地に再移転した。面積 49,500 m²、現在 137 科 530 属 800 種以上の木本・草本植物が生育している。本植物園は、植物学を基礎とする農業生命科学や森林科学など幅広い学問分野の研究教育に資するべく、国内外の植物の蒐集に努めるとともに自生種の保護管理に力を入れている。設置以来百年を経過し、都市域では稀少貴重な巨木の杜が各所に形成されている。四季を通じて様々な野鳥が訪れ昆虫相も豊富で、都市域の生物共生系モデルとして注目され、学内活用はもとより、広く学外にも解放され、地域の人々への環境教育の場ともなっている。藩政時代の武家屋敷の庭が忍ばれ、宮沢賢治ゆかりの数々の樹木や石川啄木の妻節子生誕地など盛岡に生きた人々の歴史が随所に残っている。

植物園内北側に建つ農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）は、平成 6 年国指定の重要文化財となった。平成 14 年には開学百周年を迎え、本学ゆかりのメタセコイヤの記念植樹がおこなわれ、賢治モニュメントが設置された。翌 15 年には、植物園内の旧高等農林時代の図書館を岩手大学ミュージアム本館として使用することとなり、報知板や案内板の新設・散策路の補修など多くの整備がなされた。

(2) 主な構成

① 自啓の森

旧盛岡高等農林学校学生寮“自啓寮”跡地に、岩手の山野に発達する自然林を模し、階層構造を組み込み、郷土森林生態観察モデル林として、昭和 60 年に造成されたアカマツ・コナラ群落、コナラ・クリ群落、ブナ・ミズナラ群落の 3 ブロックで構成され、一隅に“自啓寮跡”の記念碑が建つ。

② 北水の池

岩手大学環境整備第Ⅲ期計画（昭和 55 年度実施）によって、「北水の池」、「水生植物展示圃」、「築山」が農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）の南東側に造成された。北水の池は昭和 55 年に「破碎転圧工法」（旧農業土木学科農地造成研究会の考案）で造成され、1,350 m²、水深 0.2～1.2m で、漏水がないことで評価された。池の余水は、水生植物展示圃に流れ込み、経由して東側の土水路に流下し、「湿地帯」へと導かれる。

③ 水生植物展示圃

「自啓の森」が郷土の樹木をモチーフとしたのに対し、本造成では、水分環境傾度を軸とする、草本植物主体の一連の植物配置が計られた、さまざまな湿地条件がもたらす多様な生物層とともに、岩礫山体によって乾性基盤の立体景観をつくりだし、自然、生態系、そして水と緑の修景について、一体的に学べる空間をめざした。展示圃の総面積は 600 m²で、培土層の深さや水深を変えて、6つの区画が池東端の築山を囲むように並んでいる。本展示圃では、関係する学外の方々とも共同して、展示、試験を行っている。展示圃の区画配置は、0区（深水）、1区（中深水）、2区（浅水）、3区（中深水）、4区（深水）、5区（深水）となっている。

④ 旧高等農林のガラス温室（森の駅ポランハウス）

農業教育資料館南のガラス温室は、大正 14 年に完成し、当時は東北一の規模を誇り、冬でもバナナ、パイナップル、ゴムなどの南洋植物が常緑葉を光らせ、学外からの参観が絶えなかった。長きにわたる学内事業により改修・整備がなされ、「森の駅ポランハウス」として再スタートし、地域社会に向けた情報発信の場として、また教職員学生が取り組む環境教育や本学に集うものの交流の場として、よく利用されている。

⑤ 宮澤賢治モニュメント

農業教育資料館南側のドイツトウヒのそばに設置されている。賢治の花巻農学校時代も終わりに近い大正 15 年、学校付近の畑で撮った写真がモチーフとなっており、帽子をかぶってうつむいている様はどこかベーターベンに似ている。

⑥ 旧第一学生寄宿舍前のヒノキ

賢治は、第一寄宿舍（南寮）の一室に居る頃、窓越しに見える若いヒノキを題材に「ひのきの歌」を詠んでいる。今やそのヒノキは、百年の星霜を刻む大成木となり、賢治の心を伝えている。

⑦ ポランの日時計

「ポランの広場」の一隅に設置されている。日時計と説明板は、宮澤賢治が愛用した楽器（チェロ）と譜面台の関係を模倣している。太陽による標柱の影を文字盤で読み時刻を計る。盛岡太陽時を基準として作られているため、常用時（明石）との時差として-25分と近似差による補正が必要である。

⑧ 旧第三教練跡地に立つメタセコイヤ

属名メタセコイヤ (*Metasequoia*) は、三木 茂（盛岡高等農林学校、大正10年卒業）により命名され世に知られるようになった、かつての学び舎第三教練地の跡地に、本種大成木が見下ろすように立っている。ラクウショウと並びたつ空間は見事な景観を形成している。

⑨ 旧上田新小路

植物園の中央、東西に小径が残る。この上田新小路一帯は、嘉永時代に新たに開かれた侍屋敷町である。当時、諸士の屋敷割りには、間口13間、奥行25間、300坪が基準となっていた。ちなみに石川啄木の妻節子は明治19年上田新小路に生まれ幼少期をここで過ごしている。

⑩ 目時のスギとヒバおよび山邊のマツ

南部藩の時代、家臣団の名門目時家の屋敷は、ヒバ（実はサワラ）やスギを生け垣にしていたようである。初代盛岡市長の目時敬之は本屋敷で生まれ、市長時代はしばしば全職員を招き会合が催された。

旧高等農林学校の通用門を入ってすぐ正面が山邊家の庭にあたる。やはり、当家の庭園は、侍屋敷が並ぶ一体で、ひと際みごとだったと見られる。マツはゴヨウマツ（別名ヒメコマツ）で老大樹の伏臥姿はみごと、当時の侍屋敷の庭が偲ばれる。

(3) 園内概況

○珍しい植物

- ① 岩手県が南限分布地のもの：ヒメカユウ、アカエゾマツ
- ② 岩手県が北限分布地のもの：カヤ、モミ、ヒメクルミ、ミズメ、イヌシデ、ヤブサンザシ、ニガイチゴ、ヤマニガイチゴ、チドリノキ、オオバアサガラ
- ③ 岩手県が固有産地のもの：シダレカツラ、モリオカシダレ（サクラ）
- ④ 西日本が分布地のもの：ヤマコウバシ、ナツツバキ、アオギリ、モクゲンジ、アキニレなど
- ⑤ 外国産原種：チョウセンモミ、ブンゲンストウヒ、モンクナマツ、バンクスマツ、ストロープマツ、リキダマツ、メタセコイヤ、ラクウショウ、エンピツビャクシン、ニオイヒバ、コノテガシワ、カシグルミ、シナサワクルミ、オウシュウシラカンバ、オウシュウブナ、ユリノキ、アメリカスズカケノキ、エンジュ、シンジュ、コブカエデ、トリネコバノカエデ、サトウカエデ、ベニバナトチノキ、キュウエイ、セイコウシナノキ、チョウセンゴシュユ、サンシュユ、クロフネツツジ、アメリカトネリコ、ハナキササゲなど

○花

- 3月下旬 マンサク、ギンドロ、バッコウヤナギ、フクジュソウ、オオイヌノフグリ、ハコベなど
- 4月上旬 アセビ、レンギョウ、サンシュユ、ウメ、コウバイ、ヒョウガミズキ、アブラチャンなど
- 中旬 カツラ、シダレカツラ、コブシ、エゾムラサキツツジ、スイセンなど
- 下旬 エドヒガン、ソメイヨシノ、ミネザクラ、ドウダンツツジ、イタヤカエデ、チドリノキなど
- 5月上旬 ユキヤナギ、ボケ、ヤマブキ、ハクモクレン、シバザクラ、ヒメオドリコソウ、チューリップなど
- 中旬 ヤマツツジ、クロフネツツジ、モクレン、リキュウバイ、シロヤマブキ、キリなど
- 6月上旬 ボタン、ハナショウブ、カキツバタ、ヒトツバタゴ、ハクウンボク、ミズキなど

中旬	シャクヤク、ショウブ、ケアサガラ、エゴノキ、ユリノキ、ミヤコワスレ、フランスギクなど
下旬	ハナキササゲ、イボタノキ、ナツハゼ、スイレン、サツキ、ニワフジ、ウメモドキ、シャスターデージー、ムラサキツユクサ、セイヨウノコギリソウなど
7月	ナツツバキ、アジサイ、セイヨウシナノキ、ネムノキ、ムラサキシキブ、ノリウツギ、ジャノヒゲなど
8月	エンジュ、サルスベリ、ムクゲ、オオウバユリ、ヤブラン、ミズヒキ、オオハンゴンソウなど
9月	アキニレ、ヤマハギ、ミヤギノハギ、マルバハギ、ハナタデ、イヌタデなど
10月	ハナヅノツクバネウツギ、ノコンギク、ホトトギス、ミゾソバ、ククイモ、キンエノコロ、ハマギクなど

(4) 令和5年度 植物園・ガラス温室利用状況

① 植物園

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
4月10日	ラジオ体操	ラジオ体操の会	10名程度	11月10日まで
4月22日	練習会	岩手大学オリエンテーリング部	25名程度	
4月24日	植物葉に含まれる光合成炭酸固定酵素の活性測定のための葉のサンプリング	応用生物化学科 鈴木 雄二 教授	3名	令和6年3月31日まで
4月25日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	66名	
4月26日	修学旅行自主研修	当別町立西当別中学校	4名	
5月12日	総合的な探究の時間における地域理解のための散策	岩手県立杜陵高等学校	25名	
5月12日	番組取材	テレビ岩手	8名程度	
5月22日	散策・ザリガニ釣り	くるみ子ども会	60名	
5月24日	盛岡市内自主見学	弘前市立第二中学校	5名	
6月7日	生活科学習	盛岡市立上田小学校	65名程度	
6月12日	梅雨入りの盛岡市内の風景取材	盛岡タイムス	1名	
6月14日	テレビ撮影	岩手めんこいテレビ	1名	
6月14日	ザリガニ釣り体験	くるみ子ども会	9名	
6月15日	桑の実の採取	野草の会	10名	
6月19日	生活科学習	盛岡市立桜城小学校	129名	
6月28日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	61名	
6月30日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	69名	

月 日	行 事	使用者	人 数	備 考
7 月 4 日	生活科学習	盛岡市立河北小学校	61 名	
7 月 9 日	練習会	岩手大学オリエンテーリング部	25 名程度	
7 月 26 日	ザリガニ釣り	盛岡市立河北児童センター	30 名	
9 月 22 日	遠足	盛岡市立緑が丘小学校	114 名	
10 月 11 日	ザリガニ釣り	くるみ子ども会	10 名	
10 月 13 日	散策	うえだ保育園	45 名	
10 月 14 日	うえだ交流まつり (岩手大学との共催事業)	法人運営部総務広報課 東 喜洋 課長	約 1,000 名	
10 月 15 日	見学および秋の植物の学び	東京女子大学同窓会岩手支部 佐野 田鶴子 氏	10 名	
10 月 17 日	生活科学習	盛岡市立仁王小学校	64 名	
10 月 27 日	柿の採取	野草の会	10 名	
11 月 1 日	遠足	善友保育園	45 名	
11 月 4 日	練習会	岩手大学オリエンテーリング部	25 名程度	
11 月 6 日	散策	盛岡市立河北児童センター	30 名	
12 月 16 日	練習会	岩手大学オリエンテーリング部	30 名程度	

② ガラス温室

月 日	行事	使用者	人 数	備考
4 月 20 日	植物の播種・育苗	岩手大学環境マネジメント学生委員会	約 30 名	緑のカーテン等のため 令和 6 年 3 月 31 日まで
6 月 23 日	農産物流通科学研究室におけるランチョンセミナー	食料生産環境学科 折笠 貴寛 准教授	8 名	
8 月 30 日	研究支援・産学連携センター主催の研究者交流会の実施	研究支援・産学連携センター 今井 潤 教授	30 名	
10 月 14 日	うえだ交流まつり (岩手大学との共催事業)	法人運営部総務広報課 東 喜洋 課長	約 1,000 名	

4. 附属農業教育資料館

(1) 概要

岩手大学農学部附属農業教育資料館は、明治35年3月に我が国最初の高等農林学校として設置された盛岡高等農林学校の本館で、大正元年12月に竣工した。この旧本館は、青森ヒバを用いた明治後期を代表する木造二階建て総面積約1,007㎡の欧風建物で、他に便所や校舎との間をつなぐ渡り廊下が付属していた。当時一階は、校長室、事務室、会議室等として、また二階の大講堂（446.3㎡）は学内の諸儀式に使用されていたが、昭和24年、学制改革により岩手大学が設置されてからは、大学本部として一階は学長室、事務室などに利用されていた。昭和49年に大学本部が現在地に移転後、老朽化が激しくなったため、昭和52年11月に修復され、翌53年から岩手大学農学部附属農業教育資料館として活用されるようになった。農業教育資料館は、盛岡高等農林学校開校以来、今日の農学部に至る農業教育関係の資料および宮澤賢治在学中の資料を主に展示公開するとともに、二階講堂は学内の入学、卒業にかかわる諸儀式、ならびに学会、研修会、諸会議などに広く活用されてきた。その後、農業教育資料館は平成6年に再度大修復工事が行われ、装いも新たに再出発した。

この農業教育資料館（旧本館）は、明治期に設置された国立の専門学校の中心施設のうち、現存する数少ない遺構の一つであり、改造が少なく保存状態も良好で、我が国の学校建築の歴史を知る上で貴重な建物であることにより、平成6年7月2日、門番所と旧正門（土塁の一部を含む）を含め、重要文化財に指定された。

なお、平成24年4月23日～同年10月31日までを工期として、耐震化工事が行われ、ほぼ大正元年の竣工当時の姿に復元された。この工事に合わせて、展示資料の整理とリニューアルが行われ、平成25年5月31日には岩手大学農学部創立110周年記念式典が二階講堂にて举行された。

(2) 展示資料

盛岡高等農林学校設立の経緯から現在までの歴史的な変遷、高農時代の実験器具類、当時の教官の研究業績関連資料の一部（鈴木梅太郎博士研究報告、大獄了博士遺品、内田繁太郎博士の笹標本）、その他初代玉利喜造校長、関豊太郎教授の冷害関係研究資料や後年の関教授の手帳、教材用剥製標本、図譜類、写真、学生のノート、組織標本の顕微鏡スケッチ、事務関係書類等の歴史的資料、卒業生著書、寄贈図書、専門図書の一部等を展示している。

宮澤賢治関係資料としては、在学当時の「校友会会報」、「注文の多い料理店」の原本、賢治および同級生らの卒業論文、「岩手県稗貫郡地質及び土性調査報告書」、「アザリア」（一部）、「雨ニモマケズ」、恩師関豊太郎教授宛「手紙」等の複写および賢治全集、学生時代の写真、関豊太郎教授の賢治追想の文、賢治在学時代の地質調査用具、岩石標本作製用器材、鉱物・岩石標本、賢治が高農時代に採取した岩石および盛岡周辺の探索マップ、賢治が作った顕微鏡用岩石薄片、その当時に使われた教材、賢治と小野寺伊勢之助教授に関する資料、その他賢治に師事した松田甚次郎関係の資料等を展示している。

(3) 令和5年度入館者数

単位:人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
91	378	314	368	505	640	574	174	45	26	41	90	3,246

(4) 農業資料館収蔵資料の他施設・団体への貸出実績

相手先	目的	貸出情報
(株)倅星舎	フリーペーパー「情報紙ゆうゆう」掲載	資料館外観、内観
盛岡サイエンス	「賢治さんの仏頂石と薄片写真展」	岩石薄片標本写真

	ハガキ・ポスター制作	
相手先	目的	貸出情報
IBC 岩手放送	IBC ラジオ番組「朝からラジオ」制作	資料館内観
(株)企作工舎	テレビ番組「隠された宝石～世界が訪れてみたい街 MORIOKA～ (仮)」制作	資料館外観, 内観
(株)すけだち	NHK 仙台放送局「もりすた!」内の「とうほく風景めぐり」制作	資料館外観, 内観
NHK 第2制作センター	宮沢賢治没後 90 年企画番組「こころの時代」全 6 回シリーズ「宮沢賢治 久遠の宇宙に生きる」作成	資料館外観, 内観, 標本剥製写真等
岩手県北自動車(株)	バスツアーパンフレット制作	資料館外観
(株)レマン	JR 東日本「トランヴェール」制作	宮沢賢治関連資料撮影
IBC 岩手放送	「銀河鉄道の父」展準備風景取材	資料館外観, 内観
読売新聞盛岡支局	「銀河鉄道の父」展取材	資料館外観, 内観
岩手日報社編集局	「銀河鉄道の父」展取材	資料館内観
NHK 盛岡放送局	「銀河鉄道の父」展取材	第四展示室展示品撮影
中里写真事務所	平凡社「別冊太陽」宮沢賢治号取材	資料館外観, 内観, 宮沢賢治関連資料撮影
(一社)電子情報通信学会	学会誌「電子情報通信学会・通信ソサエティマガジン」掲載	第四展示室展示品撮影
(株)平凡社	「別冊太陽」掲載	資料館外観, 盛岡高等農林学校写真等
長瀬町文化財保護審議会	埼玉新聞社「宮沢賢治の長瀬地質巡検」掲載	石の標本写真等
岩手県立博物館	テーマ展「早池峰山の花と森」展示	須川長之助関連資料
川口印刷(株)ラ・クラ編集室	雑誌「rakura」掲載	資料館外観, 内観
リバティデザインスタジオ	新潟日報社夕刊紙「おとなプラス」掲載	資料館外観
中里写真事務所	企画展「宮沢賢治 二つの世界」展示	岩石標本写真等
(株)岩手日報社報道部	岩手日報本紙掲載	須川長之助関連資料
(株)NHK エデュケーショナル	放送大学「宮沢賢治と宇宙」番組制作	「蛇紋岩」標本写真
合同会社ホームシックデザイン	イラスト素材集掲載	資料館外観 (版画)
香南ケーブルテレビ・放送	ドキュメンタリー番組制作	盛岡高等農林学校写真等

川嶋印刷(株)	岩手県庁「岩手県政 150 周年記念事業」パネル 掲載	鈴木重雄学長肖像写真
(株)EDITHON	文庫「宮沢賢治」掲載	採集用ハンマー等写真

5. 農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

(1) 概要

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）は、健康な家畜の生産から加工、流通を経て食卓に至るまで、いわゆる「Farm to Table」で食の安全・安心に関する科学を学際的・横断的に希求し、その成果を地域と世界に発信する拠点として、平成18年4月1日に設置された。FAMSは現在4つの部門：企画調整部門、食の安全部門、動物生産部門および環境放射線衛生学部門で構成され、食の安全に関する分野横断的な卒後教育の提供、食品に関する地域密着型・問題解決型の研究推進、農場の衛生管理の向上に対する支援等に取り組んでいる。この中でも特に卒後教育には力を入れており、分野を問わず食に関わる人を対象にした全体研修会のほか、各分野の人を対象にした部門別研修会を、企画調整部門を除く各部門で開催している。

近年、食の安全確保においてHACCP（Hazard Analysis and Critical Control Points）やGAP（Good Agricultural Practice）方式が国際標準となり、食に関する事業者はその導入が求められている。FAMSでは東北地域の関係団体とともに「東北農場HACCP研究会」を設立し、農場におけるHACCP導入に対する普及支援活動も行っている他、東京大学、東北大学、大阪公立大学、神戸大学、および宮崎大学の食に関する各センターと連携した活動にも取り組んでいる。

(2) 活動内容

① FAMS 事業推進委員会

動物医学食品安全教育研究センター(FAMS)の運営方針や事業内容について、大学外の行政 機関・民間企業等と意見交換をする目的で設置された委員会である。

- ・開催日：令和5年6月26日(月)
- ・参加者：FAMS 事業推進委員 22名

② 卒後教育活動

(ア) 全体研修会

第19回 FAMS 全体研修会

- ・テーマ：「持続可能な畜産に向けて・・・飼料と動物福祉の問題を考える」
- ・開催日：令和5年9月29日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館ぼらんホールならびにWebexを用いた同時配信
- ・参加者：60名

(イ) 部門別研修会

食の安全部門研修会 および JRA 畜産振興事業にかかる研修会

第一部「なにやら便利で使いやすい ドロップ デジタル PCR（ddPCR）って何?」

第二部「牛伝染性リンパ腫（EBL）清浄化のための研修会」

- ・開催日：令和5年12月15日(金)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館遠隔講義室スペースC
- ・参加者：24名

③ 地域連携活動

(ア) 第10回 東北農場 HACCP 研究会

- ・開催日：令和6年3月18日(月)
- ・場 所：岩手大学農学部5号館2階ぼらんホール
- ・参加者：20名

(イ) 家畜の病態解析に関わる農業共済組合（NOSAI）とのネットワーク構築

今年度は牛 19 頭(黒毛和種 15 頭、ホルスタイン種 4 頭)を病理学的に解析した。学術的に特筆すべき症例が少なく外傷や関節炎、多脳回症、髄膜脳瘤といった奇形、牛伝染性リンパ腫など臨床診断を確認する事例が多かった。

④ FAMS 共催・協賛事業

(ア) 6 大学共同開催フォーラム

- ・テーマ: Designing foods for the future
- ・開催日: 令和 5 年 9 月 28 日 (木)
- ・場 所: 東北大学知の館 知の創出センター
- ・主 催: 大阪府立大学食品安全科学研究センター, 東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター, 神戸大学大学院農学研究科食の安全・安心科学センター, 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター, 東北大学大学院農学 研究科附属食と農免疫国際教育研究センター, 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター
- ・参加者: 39 名(学内参加者 2 名)

(イ) 令和 5 年度 NOSAI 東北家畜臨床研修センター新入職員並びに若手研修会

- ・開催日: 令和 5 年 8 月 30 日(水)～9 月 1 日(金)
- ・場 所: 岩手大学農学部 動物病院等
- ・主 催: NOSAI 東北家畜臨床研修センター (事務局 NOSAI 岩手)
- ・共 催: 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
〃 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
- ・参加者: 8 名(NOSAI 福島、NOSAI 山形、NOSAI 宮城)

(ウ) 令和 5 年度岩手大学 FAMS・FCD「診療技術セミナー」NOSAI 東北中堅獣医師講習会

- ・開催日: 令和 5 年 11 月 29 日(水)～12 月 1 日(金)
- ・場 所: 岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主 催: 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター(FAMS), 産業動物臨床・疾病制御教育研究センター(FCD)
- ・共 催: NOSAI 東北家畜臨床研修センター獣医療提供体制整備推進協議会
- ・参加者: 6 名(NOSAI 福島、NOSAI 宮城、NOSAI 岩手)

⑤ 研究活動

日本中央競馬会畜産振興事業「地域 BLV 検査センターと感染子牛センターを組み合わせ た総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」

- ・期 間: 令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ・研究代表: 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
- ・共同研究: 宮城県農業共済組合, 帝京科学大学
- ・研究分担: NOSAI 東北家畜臨床研修センター, 農研機構 動物衛生研究部門, 等

⑥ 成果発表会

FAMS 成果発表会および JRA 牛白血病対策セミナー

- ・開催日: 令和 6 年 2 月 19 日(月)
- ・場 所: 岩手大学農学部 5 号館 7 番講義室(口頭発表)および遠隔講義室スペース C
- ・主 催: 岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター(FAMS)
- ・参加者: 44 名

⑦ 会議開催実績	
（ア） 運営委員会	1 回
（イ） 企画調整部門会議	4 回

6. 農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）

(1) 概要

岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（Farm Animal Clinical Skills and Disease Control Center; FCD）は、産業動物臨床教育と実践的な参加型臨床実習を行う拠点として産業動物臨床教育の向上を支援すること、並びに家畜疾病制御に係る教育研究体制を整備し、学部・大学院・卒後教育を行うとともに産業動物分野を支える獣医師人材を育成する拠点を構築することを目的とし、令和4年6月に設立された。FCDは3つの部門：企画調整部門、産業動物実習部門および感染症制御部門で構成され、主に以下の活動を行っている。

- ① 産業動物臨床に関する実践的参加型臨床実習の提供および卒後教育の提供
- ② 重要な家畜伝染病の制御・診断・予防法に関わる研究

(2) 活動内容

① 産業動物実習部門活動実績

1) 独立法人家畜改良センター新規採用獣医師研修

- ・開催日：令和5年5月22日（月）～5月26日（金）
令和5年7月24日（月）～7月28日（金）
- ・参加人数：2名
2名

2) 中央畜産会獣医学生臨床実習研修

- ・開催日：令和5年8月21日（月）～8月25日（金）
- ・参加人数：5大学7名（病欠1名）

3) 久慈市短角牛牧野検診実習

- ・開催日：令和5年6月～9月
- ・参加人数：30名

4) リカレント・学生教育セミナー「薬剤耐性の斜め切り」

- ・開催日：令和5年6月24日（土）
- ・講師：ささえあ製薬 加藤敏英
- ・参加人数：獣医師24名 本学学生4名参加（協賛：むつの会）

5) リカレント・学生教育セミナー「疫学の基礎と畜産現場における疫学の活用事例」

- ・開催日：令和5年11月25日（土）
- ・講師：明治大学 佐々木羊介准教授
- ・参加人数：獣医師25名 本学学生3名参加（協賛：むつの会）

6) 学生教育セミナー「わかりやすい実践統計」

- ・開催日：令和6年3月1日（金）
- ・講師：いわて総合動物病院 佐々木恒弥
- ・参加人数：獣医師19名 本学学生9名参加（共催：動物病院セミナー）

7) リカレント教育セミナー「牛群管理と生化学」

- ・開催日：令和6年3月30日（土）
- ・講師：酪農学園大学 及川伸教授

- ・参加人数：獣医師 29 名 本学学生 4 名参加（協賛：むつの会）

8) 盛岡ペットワールド インターンシップ

- ・開催日：令和5年3月6日（月）～3月30日（木）
令和5年7月20日（木）～7月31日（月）
令和5年12月11日（月）～12月15日（金）
令和6年2月27日（火）～3月21日（水）
- ・参加人数：6名
5名
11名
9名

9) 総合参加型臨床実習（東京農工大学）

- ・開催日：令和5年6月26日（月）～7月7日（金）
- ・開催場所：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟、農学部附属御明神牧場、くずまき高原牧場
〃：小岩井農牧、地域農場
- ・参加人数：40名

10) JA 新みやぎ田尻支部婦人部セミナー

- ・開催日：令和5年11月9日（木）午後1時～3時
- ・会場：附属動物病院産業動物診療棟視聴覚教室
- ・参加人数：5名（共催：動物病院セミナー）

11) 令和5年度日本家畜臨床学会総会並びに第54回学術集会

- ・開催日：令和5年11月17日（金）～11月18日（土）
- ・参加人数：対面75名、リモート参加74名（後援：岩手大学）

② FCD 共催・協賛事業

1) 令和5年度NOSAI 東北家畜臨床研修センター新人若手職員研修会

- ・開催日：令和5年8月30日（水）～9月1日（金）
- ・会場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主催：NOSAI 東北家畜臨床研修センター（事務局 NOSAI 岩手）
- ・共催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
〃：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
- ・参加人数：12名

2) 令和5年度岩手大学FAMS・FCD「診療技術セミナー」NOSAI 東北 中堅獣医師講習会

- ・開催日：令和5年11月29日（水）～12月1日（金）
- ・会場：岩手大学農学部附属動物病院産業動物診療棟
- ・主催：NOSA 東北家畜臨床研修センター（事務局 NOSAI 岩手）
- ・共催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
〃：産業動物臨床・疾病制御教育研究センター
- ・参加人数：6名

③ 会議開催実績

- | | |
|-------------|-------------|
| 1) 運営委員会 | 3回（メール会議含む） |
| 2) 企画調整部門会議 | 4回（メール会議含む） |

VII 事務組織等

1. 事務組織

事務長	安 藤 範 夫
学部運営グループ	
主査（副事務長）	大 森 弘 光
主査	普 入 一 恵
主査	石 井 敬 之
主査	工 藤 幸 子
主任	菅 野 麻 莉 子
主任	中 澤 弘 明
主任	小 松 敬
事務職員（再雇用）	清 水 千 香 子
事務補佐員	藤 原 こ ず え
事務補佐員	民部 田 良 紗
事務補佐員	佐 藤 徳 子
事務補佐員	姫 野 志 織
臨時用務員	兼 田 奈 美 子
寒冷フィールドセンターグループ	
主査（副事務長）	黒 澤 喜 一
主査	岩 淵 多 恵
主事	上 野 愛 生
事務職員（再雇用）	長 代 健 児
事務職員（再雇用）	小野 寺 昭 好
事務補佐員	宮 野 朝 子
事務補佐員	北 垣 正 子
臨時用務員	高 橋 真 由 美
連合大学院グループ	
主査（副事務長）	伊 藤 真 理 子
主査	山 根 康 介
主任	相 川 和 慶
主任	高 橋 希 里 子
事務補佐員	川 戸 道 代
地域連携推進室	
特任研究員	吉 田 力
事務補佐員	安 海 桂 子
事務補佐員	西 川 由 香
事務補佐員	山 口 真 喜 子

※ 令和5年10月1日現在

2. 令和5年度予算関係

支出額

（単位：円）

区 分	学 部	附属寒冷フィールドサイ エンス教育研究センター	合 計
運 営 費	102,664,373	71,009,707	173,674,080
外 部 資 金	210,684,826	7,276,405	217,961,231
合 計	313,349,199	78,286,112	391,635,311

※学部には連大分を含まない。

3. 職員の動向

(1) 教育職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【採用】			
5. 4. 1	准教授（動物科学科）	牧野 良輔	愛媛大学農学部特任講師
〃	准教授（共同獣医学科）	横山 拓矢	岩手医科大学医学部准教授
5. 6. 1	准教授（動物科学科）	藤井 貴志	北海道立総合研究機構畜産試験場 研究主任
5. 7. 1	教授（共同獣医学科）	佐藤 雪太	日本大学生物資源科学部教授
5. 9. 1	准教授（応用生物化学科）	Wiriyasermkul Pattama	東京慈恵会医科大学臨床検査医学 講座・SI 医学応用研究センター講 師
〃	准教授（食料生産環境学科）	杉田 早苗	東京工業大学環境・社会理工学院 助教
5.10. 1	准教授（森林科学科）	當山 啓介	東京大学大学院農学生命科学研究 科附属演習林（千葉演習林）助教
6. 1. 1	准教授（森林科学科）	松本 一穂	琉球大学農学部准教授
6. 2. 1	助教（附属動物病院）	南雲 隆弘	岩手大学農学部附属動物病院特任 助教
【昇任】			
5. 5. 1	教授（応用生物化学科）	山田 美和	准教授（応用生物化学科）
〃	教授（食料生産環境学科）	袁 春紅	准教授（食料生産環境学科）
〃	教授（共同獣医学科）	一條 俊浩	准教授（共同獣医学科）
〃	准教授（植物生命科学科）	松波 麻耶	助教（植物生命科学科）
5. 6. 1	准教授（共同獣医学科）	関 まどか	助教（共同獣医学科）
5. 7. 1	教授（動物科学科）	出口 善隆	准教授（動物科学科）
6. 1. 1	教授（森林科学科）	國崎 貴嗣	准教授（森林科学科）
〃	准教授（共同獣医学科）	山崎 朗子	助教（共同獣医学科）
【昇任・配置換】			
5. 4. 1	准教授（共同獣医学科）	森田 智也	助教（附属動物病院）
【退職】			
5. 9. 15	退職	内田 直宏	助教（共同獣医学科）
6. 3. 31	定年退職	三浦 靖	教授（応用生物化学科）
〃	定年退職	関野 登	教授（森林科学科）
〃	定年退職	築城 幹典	教授（動物科学科）
〃	定年退職	由比 進	教授（附属寒冷フィールドサイエ ンス教育研究センター）
〃	退職	木下 幸雄	准教授（食料生産環境学科）

(2) 事務職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【配 置 換】			
5. 4. 1	農学部寒冷フィールドセンターグループ主査	岩 淵 多恵	研究・地域連携部地域連携推進課総括グループ主査
〃	農学部主任	高橋希里子	学務部学務課主任
〃	研究・地域連携部研究支援課主任	佐々木敬規	農学部主任〔寒冷フィールドセンター〕
〃	戦略企画・評価分析室主事	高橋 智子	農学部主事〔連合大学院〕
5. 5. 1	農学部主事	上野 愛生	法人運営部総務広報課主事
5. 7. 1	農学部学部運営グループ主査〔動物病院〕	工藤 幸子	学務部学務課専門教育グループ主査
〃	法人運営部財務課財務総括グループ主査	山口 真一	農学部学部運営グループ主査〔動物病院〕

(3) 技術職員

発令年月日	新 職 名	氏 名	前 職 名
【採 用】 5. 4. 1	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術職員	原 怜央	
〃	農学系技術部農学系第一技術室技術 職員（再雇用）	村上 政伸	
【昇 任】 5. 4. 1	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門員	中西 啓	農学系技術部農学系第一技術室農学 生命・生物グループ技術専門職員
〃	農学系技術部農学系第二技術室森林 ・環境グループ技術専門職員	岡田 菜月	農学系技術部農学系第二技術室森林 ・環境グループ技術職員

令和6年12月27日発行

発行 岩手大学農学部

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8

TEL 019-621-6103

FAX 019-621-6107

発行責任者 岩手大学農学部長 伊藤 菊一

IWATE UNIVERSITY

FACULTY
OF
AGRICULTURE